

年 報

—平成 4 年度—

VOL. 11

平成 6 年 3 月

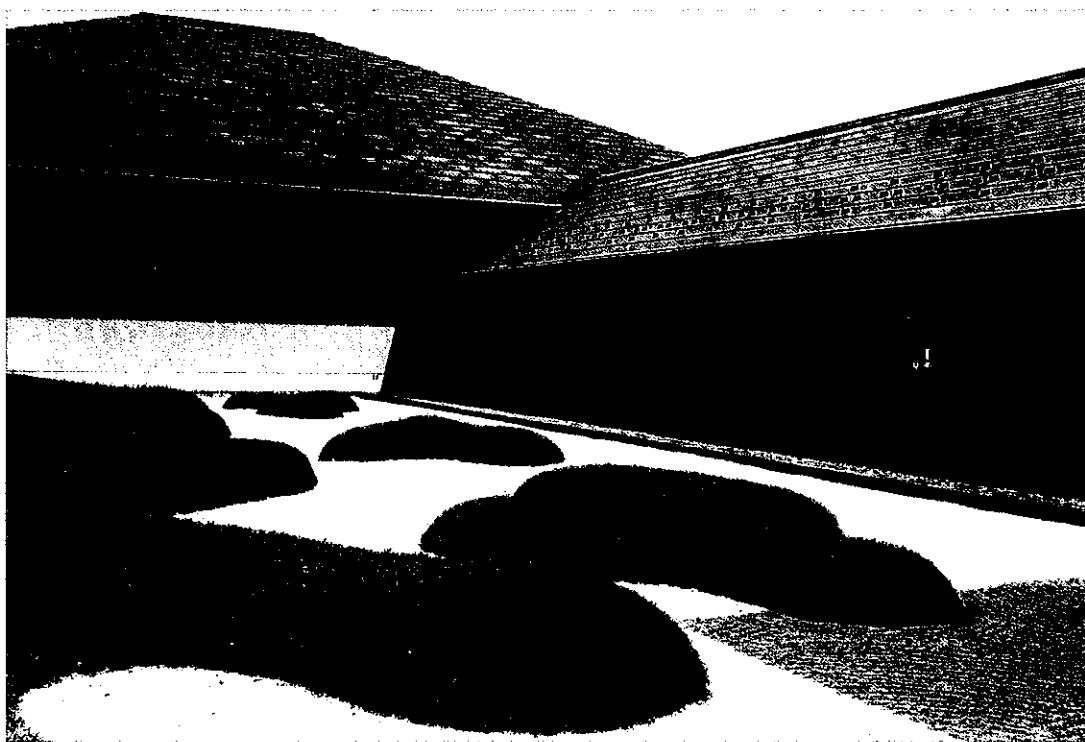
長野市立博物館

序

長野市立博物館の平成4年4月
から平成5年3月までの活動と、
利用の状況をまとめ、ここに年報
第11号を発行します。

平成6年3月

長野市立博物館



目 次

I	博物館日誌	1
1	長野市立博物館一年の歩み	1
2	茶臼山自然史館一年の歩み	2
II	事業報告	3
1	展 示	3
2	天体学習室	10
3	移動博物館	13
4	教育普及	15
5	調査研究・収集整理	21
III	博物館収蔵資料	23
1	購入資料	23
2	寄贈資料	24
3	寄託資料	41
IV	博物館管理・運営	41
1	平成4年度歳出当初予算概要	41
2	管理委託業務	42
3	利用状況	42
4	入館者状況	43
5	長野市立博物館協議会	46
6	組 織	47

I 博物館日誌

1 長野市立博物館1年の歩み

- 4月1日 辞令交付を行い、学芸員として畠山幸司・辻浩子・専門主事して関啓、専門員として児玉利子の新規職員を受入
- 4月4日 今日から定期観光バスのお客さんがみえる
- 4月11日 公園内の桜が開花する
- 4月12日 特別展「長野盆地の文化財」前期終了
- 4月14日 小中学校着任教頭施設見学で来館
- 4月16日 小中学校着任校長施設見学で来館
- 4月18日 特別展「長野盆地の文化財」後期（祈りの諸態）開催
- 5月4日 志賀方面吹雪のため、志賀草津ルート交通止めになる
- 5月10日 市長が来館し、常設展と特別展見学
- 5月20日 広島市文教委員一行14名視察、松代の行政文書を市誌編さん資料収集の一環で受入
- 5月21日 気温があがり夏日となる
- 5月24日 石家荘市副市長ほか4名視察
- 6月3日 京都府長岡京市議会議員一行11名視察
- 6月4日 市誌編さんの一環で篠ノ井・川中島などの行政文書受入
- 6月5日 駒ヶ根市博物館福沢館長ほか9名視察
- 6月7日 気象庁が梅雨入りを宣言
- 6月11日 北信越博物館大会出席のため原田が福井へ出張
- 6月16日 経済文教委員会に副館長が出席
- 6月18日 県博物館協議会総会に館長、辻が出席
- 6月23日 藤岡市教育委員会教育長ほか23名視察、副館長・山口が鉄製品保存処理の件で京都科学へ出張
- 6月26日 松代地震観測センター運営委員会に大蔵が出席
- 6月30日 本日付で松橋専門主事が退職
- 7月1日 松木和臣が専門主事として着任
- 7月2日 横浜市・更埴市の視覚障害者の団体入館がある
- 7月10日 石家荘市農業経済学会一行8名視察
- 7月12日 特別展「星との対話」開催
- 7月20日 気象庁が梅雨明けを宣言
- 7月22日 信州大学学芸員課程の学生50名が見学、公害環境課主催のスターウォッチングを博物館にて実施、みどりの見学51名来館
- 7月28日 博物館実習生6名受入（8月2日まで）
- 7月30日 朝から強い日差しが照りつけ、35.3℃まであがる
- 8月4日 夏とは思われない涼風がふき、空には絹雲がみられる
- 8月12日 文京区議会議員一名視察
- 8月25日 松代前島家資料受入について関係部署が集まり協議
- 8月31日～9月3日 くん蒸のため休館
- 9月12日 学校週5日制が実施され、公園の池には豆太公望が多くみられる
- 9月18日 議会経済文教委員会に副館長が出席
- 9月20日 特別展「水・稲・祭り」開催（11月8日まで）
- 9月23日 開館11周年記念日、記念講演会実施（講師 工業善通氏）
- 10月5日 県プラネタリウム連絡協議会出席のため大蔵が原村へ出張
- 10月6日 昨日来の雪で飯綱山が白くなる
- 10月7日 城山公民館で移動展「発掘された古代の遺物」と「西部山地の化石」を開催（10月14日まで）
- 10月10日 川中島公民館にて移動展「昭和小学校寄託資料展」開催（10月20日まで）
- 10月14日 いわき市職員3名視察
- 10月17日 藤岡市教育委員会文化財課職員14名

視察

- 10月18日 公園でライオンクラブ主催の子供達のマラソン大会が催される
- 10月25日 特別展記念講演会実施（講師 白居直之氏）
- 10月29日 巻町教育委員会職員12名特別展など見学
- 11月4日 日本博物館協会総会出席のため、副館長が徳島市へ出張
- 11月6日 大岡村公民館長ほか8名視察
- 11月10日 公園内の木々が美しい色あいをみせる
- 11月20日 教育委員会職員同和教育研修会に職員参加
- 11月25日 社会教育委員会に副館長出席
- 11月26日 議会経済文教委員8名が視察、初雪が降る
- 11月29日 快晴の1日となり、池にはコサギが小魚を追う姿がみられる
- 12月17日 経済文教委員会に副館長が出席
- 12月20日 平成5年度予算政策費の財政課ヒアリングに副館長補佐が出席
- 12月25日 一面の銀世界となり、冷え込みの厳しい日となる
- 12月27日 常設展示室ロビーでもちつきを実施
- 12月28日～1月4日 年末年始のため休館
- 1月8日 千葉県立上総博物館職員2名特別展資料調査のため来館
- 1月21日 公害環境課主催のスターウォッチングを博物館前庭にて実施
- 1月22日 長野教育事務所管内市町村文化財担当者研修会を会議室にて開催
- 1月25日 移動展を市役所にて開催（～2月5日まで）
- 1月26日 市内芋井広瀬にて辻が民俗調査を実施
- 1月31日 プラネタリウム内スライド投影台等の工事を実施（～2月6日まで）
- 2月5日 鹿児島市議会議員一行7名視察
- 2月6日 県埋蔵文化財センター主催「善光寺平を掘る」の展示が特別展示室ではじまる（～2月14日まで）
- 2月9日 那覇市議会一行3名視察
- 2月10日 憲法記念館職員が資料借用のため来館
- 2月16日 長野県博物館協議会の研修に辻が出席
- 2月25日 金星を昼間に肉眼で観察、県歴史館準備室で大文字旗受領に来館
- 2月26日 同和教育研修に副館長が出席
- 3月4日 鈴鹿市職員プラネタリウムを視察
- 3月9日 博物館協議会開催
- 3月16日 経済文教委員会に副館長出席
- 3月21日 盛岡先人記念館職員視察
- 3月25日 豊科―長野東間の高速道が開通
- 3月27日 芦ノ尻道祖神のつくりかえを地元の皆さんの手により、展示室で実施
- 3月28日 柏市議会議員1名視察
- 3月31日 学芸係藤森・和田の両専門主事が本日付で退職

2 茶臼山自然史館一年の歩み

- 4月1日 畠山幸司学芸員と関啓専門主事が着任
- 5月5日 小中学校の児童・生徒無料入館（子供の日につき）
- 5月24日 化石教室実施、21名参加（戸隠方面）
- 5月31日 化石教室実施（戸隠で採集した化石のクリーニングを行う）
- 6月18日 信州新町教育委員会職員8名来館
- 7月5日 特別展「いろいろな海の貝」開催（9月27日迄）
- 8月1日 化石教室実施、18名参加（戸隠方面）
- 8月9日 化石教室実施（戸隠で採集した化石のクリーニングを行う）
- 9月1日 市内小中学校教職の地学講習の会場に貸与、15名参加（化石のクリーニング、レプリカ作製を行う）
- 10月7日 移動展「西部山地の化石―裾花川流域―」開催（城山公民館と安茂里公民館）
- 3月31日 関啓専門主事退任

II 事業報告

1 展示

1) 博物館常設展示

常設展示室における展示の構成等は、開館依頼基本的には変わらないが、必要に応じて随時更新改善を行っている。本年度は3件について行った。

- 歴史資料の複製化

本館の展示は、開館以来ほとんど変わっておらず、殊に常設展示室内の資料の劣化が懸念されていた。昨年度は、長野市指定文化財である文禄4年の太閤検地帳などの複製を行った。本年度は次の資料の複製を行った。

富岡日記（和田英自筆・当館蔵）

続富岡日記（同上）

六工社シルクラベル（須坂市・霜田常雄蔵）

妻科庚申講人別帳（長野市指定文化財・当館保管）

これらのうち、殊に富岡日記については、他館にも複製の希望があり3館同時に複製を作った。本来、博物館は現物資料を展示することが原則ではあるが、長年の展示のため、資料自体が劣化する恐れがあり、現在は、複製品を展示し、原資料は収蔵庫内に保管している。

- 近世コーナーの展示替え

承前のように、当館の展示は開館以来常設展示の変化がない。そのため、資料の劣化もさることながら、展示室のマンネリ化が問題となる。今回、近世コーナーの展示の一部を資料の入れ替えとともに行った。具体的には、「村のしくみ」のコーナーを基本的な地方文書（農村文書）を並べることによって説明しようとするものである。しかし、この展示替えはあくまでも展示物のならび替えの意であり、根本的な展示替えは行われておらず、本当の意味での展示替えがまたれるところである。

- 大岡村芦ノ尻道祖神のつくりかえ

大岡村芦ノ尻地区の道祖神は昭和59年の第7回企画展「ワラと生活」で製作され、その後常設展示室にて展示されたが時間の経過とともに傷みが激しくなったため、つくりかえと同時にその実演を一般に公開した。

2) 茶臼山自然史館常設展示

小中学校の児童生徒及び一般者の採集した化石等を展示し、広く自然への興味・関心を高めることを目的にして「わたしの宝」の展示場所を（常設展示室2階終わりの所）を新設した。

3) 特別展示

(A) 第29回特別展「長野盆地の文化財―祈りの諸態―」（後期）

(1) 期間 平成4年4月18日～5月10日（実質開館日数19日）

(2) 印刷物 A2版多色刷りポスター
A4版二つ折りリーフレット
展示解説シート

(3) 趣旨

前年度開催の、「歴史と美の世界」に引き続いて行なわれたもの。本展示の主題は、長野市に所在する指定を受けた仏像を一同に展示することであった。重要文化財4体を含む17体の仏像が出陳された。また、これにあわせて、長野市内に所在する板碑の展示も行なった。長野市内には室町時代以降の板碑が多くあるが、これらは従来あまり知られていなかった。今展示ではこれらのうちのいくつかを展示した。



展示情景

(4) 展示資料目録

展 示 資 料 名	所 有 者（敬称略）	指 定	備 考
〈仏像〉			
木造地藏菩薩立像	松代町西条 清水寺	重要文化財	
木造毘沙門天像	同 上	長野市指定	
木造薬師如来立像	同 上	長野県宝	
木造阿弥陀如来立像	松代町西条 西楽寺	長野市指定	
木造伐折羅大將像	元善町 大本願	長野市指定	
木造聖徳太子立像	同 上	長野市指定	
銅造阿弥陀如来一光三尊像	安茂里 無常院	長野市指定	
木造大日如来坐像	若槻 円竜寺	長野市指定	
銅造観音菩薩立像	若槻 丸山茂ほか4名	重要文化財	
木造伝子安荒神坐像	篠ノ井村山 荒神堂	重要文化財	
木造地藏菩薩立像	篠ノ井塩崎 長谷寺	長野市指定	
木造毘沙門天像	元善町 世尊院	長野市指定	
銅造観音菩薩立像	若穂保科 小泉敏伯	長野市指定	
木造聖観音菩薩立像	川中島 切勝寺	長野市指定	
石造地藏菩薩坐像	篠ノ井布施高田 高田区	長野市指定	
石造薬師如来坐像	同 上	長野市指定	
板碑	同 上		
銅造釈迦涅槃像	元善町 大勧進		

展 示 資 料 名	所 有 者（敬称略）	指 定	備 考
〈仏具〉 五鈷杵 五鈷鈴 羯磨金剛	元善町 大勸進 元善町 世尊院 同 上	重要美術品 長野市指定 長野市指定	
〈板碑〉 嘉暦元年銘 青石 阿弥陀種子 青石 永正12年銘 安山岩 阿弥陀種子 安山岩 天文22年銘 安山岩 永享11年銘 安山岩 天文20年銘 安山岩 墨書供養塔 五輪塔線彫	中御所 観音寺 西長野 往生寺 小牧高田 春原和昭 北市 仏導寺 同 上 元善町 福生院 上松 十王庵 西長野 西光寺 同 上		
〈経筒〉 仁平元年銘	篠ノ井 長谷寺		

(B) 第30回特別展「星との対話」

(1) 期間 平成4年7月12日～8月30日（実質開館日数43日）

(2) 出版物 A2版多色刷りポスター
A4版二つ折りリーフレット

(3) 趣旨

プラネタリアムの番組制作をはじめてから10年がたち、制作番組数も41になった。そこで、星空の美しさの再発見をしていただくとともに、プラネタリアム、初期の望遠鏡、そして、過去の制作番組を原画や音声で展示した。また、第7回サンシャインプラネタリアム天体写真コンテスト入賞作品展も同時に開催した。

(4) 展示構成

① 日本の星

日本古来の星の呼び名（写真と民具など）

② 古絵図に見る星座

ボーデ星座絵図、バリット星座絵図、セラリウス星座絵図、デューラーの星座絵図など

③ 星の観測の基本道具

星図・星表、星座早見盤、望遠鏡

④ プラネタリアム

原画、シナリオ、平面プラネタリアム、小型プラネタリアム、プラネタリアム惑星棚

⑤ 県内の天文施設

(C) 第31回特別展「水・稲・まつり」

(1) 期間 平成4年9月20日～11月8日（実
質開館日数41日）

(2) 出版物 A 2版多色刷りポスター
A 4版両面刷り二ツ折りリーフ
レット
B 5版展示図録（76頁）

(3) 趣旨

私たちの祖先が米づくりを始めたのは
2400年も前のことで、以来今日まで日本人
は米とつきあうようになり、日本文化を形
成していく過程で、大きな役割を演じてきた。長野盆地にみる自然堤防上にムラを作り、後背
湿地に水田を拓くという風景は、いわば古代からの原風景にほかならない。

篠ノ井石川や若穂川田の後背湿地の下層から、古代の水田が近年の調査により確認されてい
る。今回の展示では、昨今の大きく変化しつつある水田風景のもとで、私たちの祖先が営んで
きた水田の様子を様々な視点より探りました。

(4) 展示構成

- ① 古代の米 ③ 春の水田 ⑤ 米の貯蔵 ⑦ 水田と畠
② 稲の受容と拡大 ④ 秋の水田 ⑥ 粥と強飯 ⑧ 稲作とまつり

(5) 催物

記念講演会 「稲作の始まりと農村生活」

工楽善通氏

（奈良国立文化財研究所飛鳥資料館学芸室長）

9月23日(水)

「善光寺平を中心とする古代の稲作技術について」

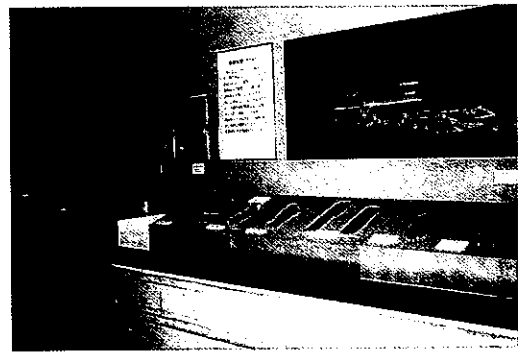
白居直之氏

（長野県埋蔵文化財センター調査研究員）

10月25日(日)

(6) 展示資料目録

No.	資 料 名	点数	遺 跡 名	所 蔵 者（敬称略）
	○ 古代の米			
1	アッサムⅣ（インディカ）	1		長野県農事試験場
2	南京香稻（ ” ）	1		”
3	クロゴメ（ ” ）	1		”
4	黒選5号（ ” ）	1		”
5	トウコン（ジャポニカ）	1		”
6	赤もろ（ ” ）	1		”
7	コシヒカリ（ ” ）	1		”
8	炭化米	1	岡谷市橋原	市立岡谷美術考古館
9	”	1	長野市平柴平	長野市立博物館
10	粳	1	石川条理	長野県埋蔵文化財センター
	○ 稲作の受容と拡大			
11	初条庄痕土器	3	茅野市御社宮司	茅野市尖石考古館
12	”	3	飯田市石行	飯田市教育委員会
13	”	2	大町市一津	大町市教育委員会



展 示 情 景

No.	資 料 名	点数	遺 跡 名	所 蔵 者（敬称略）
14	粃	14	新潟県巻町御井戸	巻町教育委員会
15	トチ	1	〃	〃
16	ドングリ	1	〃	〃
17	クルミ	1	〃	〃
18	ヒシ	1	〃	〃
19	石器類	5	〃	〃
	○ 県内最古の農具			
20	エブリ	1	中野市七瀬	長野県埋蔵文化財センター
21	膝柄鍬	1	〃	〃
	○ 発掘された古代の水田			
22	土層はぎとり断面	1	長野市石川条里	〃
23	水田面の足型	1	〃	〃
24	水田面の足型	1	長野市川田条里	〃
	○ 水田と畑			
25	ウリ科植物種子	1	長野市石川条里遺跡	長野市埋蔵文化財センター
26	クルミ	1	〃	〃
27	モモ	1	〃	〃
28	ハトムギ	1	群馬県子持村黒井峯遺跡	子持村教育委員会
29	アズキ	1	〃	〃
30	アワ状炭化物	1	長野市松原遺跡	長野県埋蔵文化財センター
	○ 農 具			
31	田舟	1	上伊那郡箕輪町箕輪	箕輪町郷土博物館
32	鍬	1	更埴市本誓寺	更埴市教育委員会
33	田下駄	3	長野市川田条里	長野県埋蔵文化財センター
34	〃	1	長野市石川条里	〃
35	膝柄鍬（穴あきナスビ形）	1	〃	〃
36	〃（二又）	3	〃	〃
37	〃（二又ナスビ形）	2	〃	〃
38	〃（三又ナスビ形）	2	〃	〃
39	〃	2	〃	〃
40	一木鋤（二又ほか）	3	〃	〃
41	平 鍬	1	〃	〃
42	〃（泥除けつき）	1	〃	〃
43	膝 柄	3	〃	〃
44	エブリ	3	〃	〃
45	堅 杵	2	〃	〃
46	横槌	2	〃	〃
47	磨製穂摘具	4	〃	〃
48	〃	1	長野市川田条里	〃
49	〃	1	長野市塩崎遺跡群	長野市立博物館
50	打製穂摘具	3	〃	〃
51	〃	2	〃	塩崎文化財保存会（寄託品）
52	打製石鍬	2	〃	長野市立博物館
53	剝片穂摘具	3	長野市中俣	長野市埋蔵文化財センター
54	鉄 鎌	2	塩尻市吉田川西	長野県埋蔵文化財センター
55	〃	2	松本市三の宮	〃
56	〃	1	長野市田中沖	長野市埋蔵文化財センター
57	〃	1	長野市塩崎遺跡群	〃
58	鋤鍬先	1	松本市南栗	長野県埋蔵文化財センター
59	〃	2	松本市三の宮	〃
60	〃	2	松本北方	〃
	○ 貯 蔵			
61	大型壺	1	岡谷市橋原	市立岡谷美術考古館

№	資 料 名	点数	遺 跡 名	所 蔵 者 (敬 称 略)
62	大型甕	1	岡谷市橋原	市立岡谷美術考古館
63	礫痕土器	1	松本市県町	松本市立考古博物館
64	梯子	1	長野市石川条里	長野県埋蔵文化財センター
65	楯 材	1	長野市川田条里	"
66	垂木材	1	長野市石川条里	"
67	柱 材	1	"	"
○ 米とワラ				
68	ワラムシロ	1	塩尻市内田原	塩尻市平出遺跡考古博物館
69	ゾウリ	1		長野市立博物館
70	ゴザハバキ	1		"
71	タワランパセ	1		"
72	ベントウカマス	1		"
○ 粥と強飯				
73	甕 (弥生土器)	1	長野市中俣	長野市埋蔵文化財センター
74	" (")	1	長野市中条	"
75	" (土師器)	1	長野市塩崎遺跡群(塩崎小学校地点)	長野市立博物館
76	甕 (")	1	長野市水内坐一元神社	"
77	壺 (")	3	長野市篠ノ井遺跡群	長野市埋蔵文化財センター
○ 祭 り				
78	鳥形土製品	1	長野市塩崎遺跡群伊勢宮	長野市立博物館
79	ト 骨	3	更埴市生仁	更埴市教育委員会
80	刻 骨	1	更埴市生仁	更埴市教育委員会
81	鏢状角製品	2	"	"
82	甕	1	長野市平柴平	長野市立博物館
83	"	1	長野市吉田高校グラウンド	"
84	"	1	長野市国鉄車輛基地	神保美見 (寄託品)
85	"	1	長野市中俣	長野市埋蔵文化財センター
86	鳥形木製品	1	静岡県沼津市雌鹿塚	沼津市教育委員会
87	舟形木製品	2	"	"
88	剣形木製品	2	"	"
89	男根状木製品	1	"	"
90	銅 鐸	1	長野市松節	小島貞雄 (寄託品)
91	有孔石剣	1	豊田村笠倉	神田加奈登
92	石 戈	1	長野市松原	長野市埋蔵文化財センター
93	"	2	"	長野県埋蔵文化財センター
94	石 剣	1	"	"
95	"	1	長野市中俣	長野市埋蔵文化財センター
96	子持勾玉	3	長野市観音寺	更級横田神社 (寄託品)
97	鳥形木製品	1	長野市石川条里	長野県埋蔵文化財センター
98	祭祀土器	19	長野市駒沢祭祀	長野市立博物館
99	石製模造品 (勾玉・剣・白玉ほか)	20	"	"
100	珠文鏡	1	長野市川田条里	長野県埋蔵文化財センター
101	琴形木製品	1	長野市石川条里	"
102	鳥形土製品	2	長野市川田条里	"
103	ト 骨	1	長野市松原	長野市埋蔵文化財センター
104	牛の穿穴下顎骨	1	長野市篠ノ井遺跡群	長野県埋蔵文化財センター
105	墨画土器 (坏)	1	群馬県前橋市柳久保水田址	前橋市教育委員会
106	坏	9	"	"
107	豚の焼骨	1	"	"
108	馬の奥歯	1	"	"
109	馬 骨	1	長野市石川条里	長野県埋蔵文化財センター
110	"	3	長野市松原	"
111	坏	10	長野市石川条里	長野市埋蔵文化財センター
112	坏	7	"	長野県埋蔵文化財センター

(D) 自然史館第7回特別展「いろいろな海の貝」

(1) 期間 平成4年7月5日～9月27日

(実質開館日数71日)

(2) 出版物 A 2版二色刷りポスター

A 4版両面刷り二ツ折パンフレット

B 5版展示図録(16頁)

(3) 趣旨 南北に細長い日本列島の近海は、景観や環境が非常に変化に富んでいることから、約6000種もの貝類が生息する貝類の宝庫として知られている。これらのなかには、食べられるものや装飾品に用いられるもの、色彩や形が美しいものも少なくない。

この特別展は、貝類の多種多彩な姿や変化に富んだ生態を通して、信州に住む私たちが日頃触れる機会の少ない海の生物に親しんで戴こうと企画したものである。

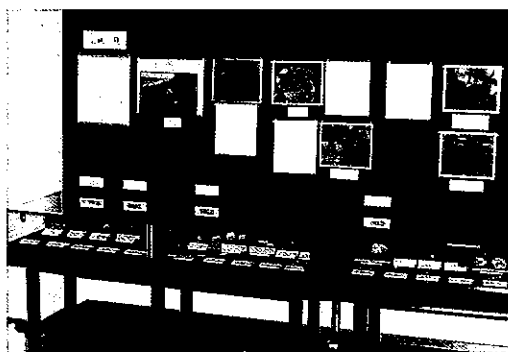
なお、展示にあたって、信州大学理学部より貝の標本を23点、魚津水族館から貝の生態写真12点を借用した。

(4) 展示構成

- | | |
|----------|---------------------|
| ① 貝類とは | ⑤ サンゴ礁の貝 |
| ② 内湾の貝 | ⑥ 浮遊性の貝 |
| ③ 外洋砂底の貝 | (7) 直江津の海水浴場で採集された貝 |
| ④ 岩礁の貝 | ⑧ 長野市周辺の貝化石 |



展示情景



展示情景

2 天体学習室（プラネタリウム）

1) 概要及び運営方針

当館の天体学習施設としてのプラネタリウムは、ドームの直径が12m、座席数が120で演出しやすい一方座席となっている。（機械は五藤光学GX-A T）

平日は学校教育の一環として理科教育センターが学習投影を行い、土曜・日曜・祝休日、そして春休みと夏休みに当館が一般向けに投影している。なお、一般撮影はプログラムを組んで行うオート投影で、録音と原画作製以外は自主製作している。

本当は、実際の星空を見てその美しさを十分に味わってもらいたいのであるが、天候や時間帯など、なかなかそれができないことが多いのが現状である。そこで、少しでも多くの人（星が好きな人も、そうでない人も）気軽に、そして楽しく星空を見てもらうために、季節ごとに話題を変えて投影している。

プラネタリウムの中はいつも快晴で満天の星である。これが実際の星空を見る案内人としての役目を少しでも果たせればと考えている。

そして、最終的には本当の星や星座を自分で探せるように、というのが切なる希望である。

投影番組製作に当り、外部委託は次のとおりである。

録音及びテープ製作……(株)長野トップ

原画製作……小林徳子

2) 投影内容

(1) 夏の番組「プラネタリウムの舞台裏」No.44

① 投影期間 平成4年5月30日～8月23日

② 内容

東京から長野のおじいちゃんの所へ遊びにきた孝雄は、おじいちゃんと夏祭りを見に出かけた。夏祭りの花火も終わり、家に帰る途中、ふと空を見ると見たことがないきれいな星空が広がっていた。織姫や彦星といった七夕の星をおじいちゃんに教えてもらった孝雄は、長野にもプラネタリウムがあることを知った。さっそくおじいちゃんにプラネタリウムへ連れて行ってもらうことにした。

博物館のプラネタリウムに入り、夏の星座のお話を聞いた後、孝雄はプラネタリウムの上に妙なものが乗っているのに気がついた。それは、プラネタリウムの妖精だった。孝雄はプラネタリウムの妖精からプラネタリウムの仕組み、番組の作り方、いろいろなプラネタリウムの話を聞く。

③ 投影時間38分



孝雄は、プラネタリウムの妖精に連れられてプラネタリウム本体の中へ。



ギリシア神話「オルフェウスの物語」から

(2) 秋の番組「天文学者ベッセル」－恒星の視差を見つけろ－No.45

① 投影期間 平成4年8月29日～11月8日

② 内容

ある雨の日、16歳のベッセルは一匹の子猫を拾った。子猫の名前はベッセルによって「ゲーテ」と名付けられた。そして、ゲーテの「猫の目」が、ゲーテの歩んでいった道、天才の才能とその偉大な業績、特に天文学者の長い間の夢だった恒星の視差を発見するいきさつなどを語っていく。

フリードリッヒ・ウィルヘルム・ベッセルは、1784年ドイツのミンデンで生まれた。ラテン語が苦手で、中学を中退し、得意な数学を生かすために貿易の仕事をするようになった。その後、ベッセルは持ち前の頑張りや数学の才能を発揮し、多くの星の正確な位置測定やシリウスとプロキオンのお供の星（伴星）の存在を予言した。（その伴星は、1861年にアメリカの天文学者クラークによって発見された）そして、なんととっても最大の業績は初めて恒星の視差を発見したことだった。

ちなみに、ゲーテという猫はベッセルを紹介するために登場させた架空の猫である。

③ 投影時間 35分



ベッセルはねこのゲーテとともに天文学と数学の勉強に励んだ。

(3) 冬の番組「宵の明星－金星－」No.46

① 投影期間 平成4年11月14日～平成5年1月31日

② 内容

宵の明星金星から、美しい女神「ヴィーナス」が登場する。金星は明るく、美しく輝くことから、愛と美の女神ヴィーナスの名前をもらっている。

ヴィーナスは望遠鏡で見た金星や、秋から冬の星座、そして金星観測の歴史などを話してゆくが、ときどき「ルシファー」という悪魔が現われては女神のじゃまをする。そして、ついに女神を追いだしてしまう。ルシファーは女神に代わって金星に軟着陸を試みたソ連の探査機「ヴェネラ」の活躍、そしてヴェネラによって明らかにされた金星の本当の姿を紹介していく。さて、金星はヴィーナスのように美しい惑星だろうか、それともルシファーのような悪魔の惑星だろうか。

ルシファーというのは古代ローマ人が考えた悪魔で、明けの明星のことである。

③ 投影時間 40分



ヴィーナスの邪魔をする明けの明星の象徴「ルシファー」



ギリシア神話「オリオンの物語」より

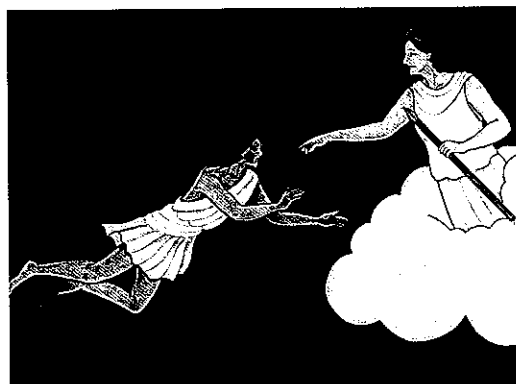
(4) 春の番組「私はひとりぼっち!」No.47

①投影期間 平成5年2月20日～4月25日

② 内容

西暦2010年、宇宙人へのメッセージを積んだ探査機「メッセンジャー」が打ち上げられた。メッセンジャーは早くて4～5万年後に恒星に近づく予定である。

メッセンジャーを打ち上げた教授とその妻が、夜空を見ながら、SETI（セチ）……宇宙人探し……の話をしていく。私たちの銀河系では、



ギリシア神話よりケパロスに恋する曙の女神エーオース。

地球以外に宇宙人がいるかどうかということに楽観的な教授と、悲観的な教授の妻が、ET（地球外知的生命）について論争する。

また4万年後、メッセンジャーが他の星へ行った時を想定し、その模様をメッセンジャーが語る。

③ 投影時間 38分

3) 星空の散歩道

毎月最後の日曜日の午後3時からの投影は通常の番組ではなく、その折々の天文の話題を生解説で行う「星空の散歩道」を実施している。今年度は、下記的话题を取り上げた。

月 日	話 題	入場者数	月 日	話 題	入場者数
4月26日	暦の話	126人	10月25日	流星群と流星雨	80人
5月31日	黄道十二宮	113人	11月29日	12月24日 部分日食	120人
6月28日	白夜（北極圏の空）	116人	12月27日	火星接近	65人
7月26日	変光星 ミラ	80人	1月31日	星雲と星団	103人
8月30日	仲秋の名月	111人	2月28日	シリウスの話	145人
9月27日	星までの距離	95人	3月28日	春分と春分の日（太陽の運行）	62人

3 移動博物館

1) 教室

天体観望会

第1回 (芋井公民館と共催)

日 時 平成4年6月6日(土) 午後7時30～9時30分

会 場 広瀬運動場(芋井)

参加者 約30人

内 容 開始前まで、月や木星が見えていたが、まもなく曇ってしまい、実際の星を見ることができなかった。スライドなどで、惑星、星雲星団、星座の話をした。

第2回 (芋井公民館と共催)

日 時 平成4年7月25日(土) 午後8時～9時30分

場 所 広瀬運動場(芋井)

参加者 約50人

内 容 雲が多く、はじめは雲が多くあまり星が見られなかったが、途中で晴れてくる。ミザール、アルビレオ、M57などを望遠鏡で見る。

第3回 (小田切公民館と共催)

日 時 平成4年7月30日(木) 午後8時～9時30分

会 場 改善センターグラウンド(小田切)

参加者 約30人

内 容 快晴の天気になり、条件の良い小田切で天王星、アルビレオ、M57、ミザール、M27、M13、M7、土星など様々な天体を見ることができた。観望の後、スライドを使って星の話をした。

第4回

日 時 平成4年10月31日(土)～11月1日(1泊2日)

会 場 小川天文台、星と緑のロマン館

参加者 45人

内 容 プラネタリウム鑑賞、学習会、観望会をおこなう。観望会では、天候に恵まれ、60cm反射望遠鏡で、M31、ペルセウス座二重星団を、そして小望遠鏡でもスィフト・タットル彗星など様々な天体を見ることができた。

第5回 (信更公民館、信更地区育成会と共催)

日 時 平成4年11月21日(土) 午後5時30分～8時

会 場 信田小学校グラウンド

参加者 約50人

内 容 夕方から晴れてきて、快晴になる。ペルセウス座流星群の母彗星である、スィフト・タットル彗星(尾が見える)、金星、土星、M57、M45、M42などを観望する。

2) 展 示

(1) 「西部山地の化石」(裾花川流域)

① 期間・場所

10月7日～14日 城山公民館101教室

10月16日～30日 安茂里公民館2階廊下

② 内容

5月と8月に実施した化石教室の際に参加者が採集した化石を中心に、裾花川沿いで採集された化石を展示。

③ 展示資料 104点

(2) 「発掘された古代の遺物」

① 期間 平成4年10月7日～14日

② 場所 城山公民館101教室

③ 趣旨

城山地区より発掘調査された遺物を展示し、身近な先人の足跡をたどった。

④ 内容

湯谷1号墳出土遺物(武器・馬具)、地附山2号墳出土遺物(北裾・西裾出土祭祀土器)、旭町遺跡出土遺物(縄文中期土器・打製石斧・宝貝形土製品)、本村東沖遺跡出土遺物、(石製模造品・土師器セット)、新諏訪町遺跡出土遺物(弥生土器)

(3) 昭和小学校寄託資料展

① 期間 平成4年10月10日～10月20日

② 場所 長野市立川中島公民館

③ 趣旨

昨年度昭和小学校から寄託を受けた資料のうち、整理が済んだものの中からいくつかを展示した。

④ 内容(主な展示資料)

近代文書(原村関係) 民俗資料
アイヌ関係資料

⑤ 展示資料 約60点

(4) 「市民参加の博物館活動より」

① 期間 平成5年1月25日～2月5日

② 場所 市役所玄関棟2階市民ギャラリー

③ 趣旨

今年度の体験的な教室を展示という形で総括し、博物館の活動の一端をPRすることを主眼した。

④ 内容

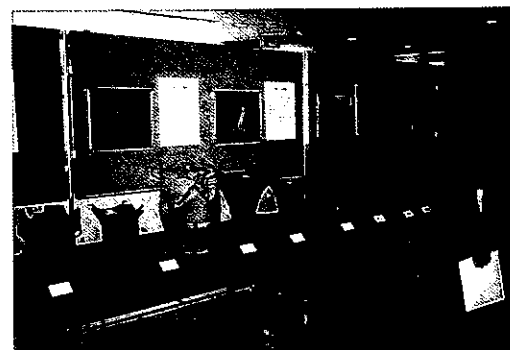
写真パネル展示…化石教室・天体観望会・遺跡見学会・ワラ細工教室・歴史見学会・移動展・作品展…竹細工教室・土器づくり教室



「西部山地の化石」展(城山公民館)



「発掘された古代の遺物」展



「市民参加の博物館活動より」展

4 教 育 普 及

1) 教室・講座

(1) 天体観望会

第1回

日 時 平成4年5月2日(土) 午後7時30分～9時30分

会 場 プラネタリウム、天体観測ドーム

参加者 33人

内 容 昼間曇天だったが、夕方より一部晴れ間が出てきた。木星を見た後、プラネタリウムで星の学習を行う。

第2回

日 時 平成4年6月20日(土) 午後8時～10時

会 場 プラネタリウム

参加者 32人

内 容 雨天のため、実際の星は見られず、プラネタリウムでの星の学習をした。

第3回

日 時 平成4年9月26日(土) 午後6時30分～8時30分

会 場 博物館前庭

参加者 63人

内 容 雲は多めだったが、外で実施。土星、アンドロメダ大星雲などを見る。透明度はよいが、風が強い夜だった。

第4回

日 時 平成5年2月13日(土) 午後6時～8時

会 場 博物館前庭

参加者 約80人

内 容 快晴の天気になり、4台の望遠鏡と双眼鏡で、水星、金星、火星、M31、M42、M35、M44、M1、M41などを見る。観望前に、スライドで、その日に見る予定の天体の解説をした。

第5回

日 時 平成5年3月27日(土) 午後7時～9時

会 場 博物館前庭

参加者 約30人

内 容 薄雲があり、3等星ぐらいまでしか見えず、あまりよい空の状態ではなかった。月、木星、オリオン大星雲、M44、ミザールなどを望遠鏡で見た。上信越道が開通して初めての観望会となり、暗かった松代方面の空が明るくなった。

(2) プラネタリウムCDコンサート「星空と音楽」

第30回

日 時 平成4年9月19日(土) 午後6時30分～8時

入場者 122人

特 集 夏を振り返る

曲 目	1	ガラス越しに消えた夏	(オルゴール)
	2	Remember Me	チューブ
	3	夏の日	オフコース
	4	BLUE LETTER	甲斐バンド
	5	あの夏を忘れない	TMN
	6	9月の蟬しぐれ	松任谷由実
	7	夏土産	中島みゆき
	8	少年時代	井上陽水
	9	SUMMER CANDLES	杏里
	10	夏の終り	オフコース
	11	いくつもの星の下で	オフコース

第31回

日 時 平成4年12月19日

1回目 午後6時30分～8時

2回目 午後8時10分～9時40分

入場者 1回目 112人

2回目 103人

特 集 クリスマスソング

曲 目	1	ラストクリスマス	ワム!
	2	ワンダフル・クリスマス・タイム	ポール・マッカートニー
	3	雪のクリスマス	ドリームズ・カム・トゥルー
	4	クリスマスキャロルの頃には	稲垣潤一
	5	ホワイ・クリスマス	マイケル・ボルトン
	6	メリー・リトル・クリスマス	エイミー・グラント
	7	3-Dのクリスマスカード	松任谷由実
	8	クリスマス・タイム・フォーエバー	サザンオールスターズ
	9	クリスマス・イブ	山下達郎
	10	ザ・クリスマス・ソング	竹内まりや

第32回

日 時 平成5年3月20日 午後6時30分～8時10分

入場者 103人

特 集 尾崎豊

曲 目	1	自由への扉	6	卒業
	2	15の夜	7	ダンスホール
	3	存 在	8	ロザーナ
	4	十七歳の地図	9	僕が僕であるために
	5	シェリー	10	I LOVE YOU

(3) 化石教室

① 春の化石教室

日 時 平成4年5月24日・31日午前8時45分～午後4時

場 所 戸隠村周辺

参加者 21人

講 師 田中邦雄（館長）

内 容 第一日は、現地にて化石の採集や地層の観察を行い、戸隠村地質化石館を見学した。

第二日は、茶臼山自然史館の教室で採集した化石のクリーニングなどを行った。

② 夏の化石教室

日 時 平成4年8月1日・9日午前9時～午後4時

場 所 戸隠村周辺

参加者 20人

内 容 春の化石教室と同様

(4) 歴史見学会

① 佐久地方をたずねて

開催日 7月26日（日）

参加者 40名

見学先 落合新善光寺・旧中込学校・新
海神社・貞祥寺ほか

② 善光寺周辺の史蹟をたずねて

開催日 10月20日

参加者 23人

見学先 かるかや山西光寺・十念寺・善
光寺・往生寺ほか

(5) 歴史講座①

① 『続日本紀』を読む

開催日 5月16日・30日、6月13日・
27日、7月11日・25日

講 師 原田和彦

場 所 博物館会議室

内 容 『続日本紀』の転読

参加者 37名

② 古文書の基礎を学ぶ

開催日 10月31日・11月7日・11月14日
・21日

講 師 原田和彦

場 所 博物館会議室

内 容 江戸時代寺子屋の教本として使わ
れた『海津往来』を読んだ。

参加者 39名

(6) 歴史講座②

「地方武士の軌跡」

開催日 9月19日・26日・10月3日・17日

講 師 和田博

場 所 博物館会議室

内 容 中世武士について

参加者 32名

(7) 古文書講座

「鶴の毛衣」を読む

開催日 11月28日・12月5日・12月12日・19日

講 師 藤森治幸

場 所 博物館会議室

内 容 「鶴の毛衣」を読んだ

参加者 37名

(8) 遺跡見学会

日 時 ① 5月14日 午前11時～午後4時30分 ④ 8月28日 午前9時30分～午後4時
② 6月18日 " ⑤ 10月22日 午前9時30分～午後4時45分
③ 7月16日 " ⑥ 11月19日 午前11時～午後4時30分

会 場 会議室・野外

受講者 ①21人 ②22人 ③23人 ④22人 ⑤13人 ⑥14人

内 容 各回ともそれぞれテーマを設定して見学した。

①窯業遺跡（中野市池田端古窯跡）

②古代の土地利用と景観（更埴市更埴条里遺跡・屋代遺跡群）

③住まい（中野市栗林北遺跡）

④大室古墳群発掘調査現地説明会

⑤生産遺跡（中野市清水山窯跡・小布施町玄照寺跡飯田古屋敷遺跡・長野市榎田遺跡・更埴市清水製鉄遺跡）

⑥古墳の構造（更埴市屋代遺跡群・清水製鉄遺跡）

協 力 長野県埋蔵文化財センター

(9) 土器づくり教室

日 時 ① 7月26日 午後1時30分～4時30分 ⑧ 9月4日 午前9時～午後3時
② 8月1日 午後2時～4時30分 ⑨ 9月5日 午前10時～午後3時
③ 8月8日 午前9時30分～午後4時30分 ⑩ 9月6日 午前9時30分～午後5時
④ 8月9日 " ⑪ 9月20日 午前9時30分～午後4時30分
⑤ 8月11日 " ⑫ 11月14日 午前9時30分～午後3時
⑥ 8月12日 " ⑬ 11月15日 午前9時30分～午後5時
⑦ 8月23日 午前7時～午後6時 ⑭ 11月28日 午後2時～4時

会 場 会議室・野外

受講者 11人

内 容 実際の縄文土器（写真や実測図）を手本にして、忠実に再現することを主眼とした。
素地づくり→成形→施文→調整→乾燥→焼成の工程を2回行った。また2回目の野焼き
には、土器を使っの芋煮会を行った。乾燥段階には新潟方面に土器見学旅行を実施し
た。

(10) 考古学講座

日 時 2月13日・2月27日・3月13日・3月27日・午後2時～4時

会 場 会議室

受講者 46名

内 容 「原始古代の衣食住」をテーマに①衣生活－編む布と織る布－②食生活－食料資源と
生産活動－③住居と集落－ムラの姿－を4回に分けてお話しした。

(11) 竹細工教室

日 時 平成4年5月23日・6月6日・20日・7月4日 午前10時～午後3時30分

会 場 会議室

受講者 18人

講 師 小出九六生氏

内 容 一本の真竹を素材にして、材料づくり（竹割り・竹ひごづくり）から始めて、竹編み
に挑戦し、それぞれの造形に仕上げた。

(12) ワラ細工教室

日 時 平成4年12月6日・13日 午前10時～午後3時30分

会 場 会議室・野外

受講者 7人

講 師 吉田茂也氏

内 容 ワラにかかわる歴史的な話しのあと、ワラスグリ・ワラウチを行い、ワラ編み台を用いてゾウリを作った。また打たないワラを用いてシメナワ（しゃくしじめ・ごぼうじめ）も作った。

2) 講演会

(1) 特別展「水・稲・まつり」記念講演会

日 時 9月23日 午後2時～4時

会 場 会議室

演 題 「稲作の始まりと農村生活」

聴講者 139人

内 容 大陸からの稲作伝来推定経路の最新の研究成果を紹介しながら、日本列島内での伝播の様子を各地の事例をみながら、具体的に紹介していただいた。また水田区画・水路や農耕具などさまざまな要素から汎日本的な視野で農村生活の原形を形づくった弥生時代を中心に跡づけていただいた。

(2) 特別展「水・稲・まつり」記念講演会

日 時 10月25日 午後2時～4時

会 場 会議室

演 題 「善光寺平を中心とする古代の稲作技術について」

聴講者 61人

内 容 近年における善光寺平での水田跡発見の状況と石川条里遺跡や川田条里遺跡より大量に発見された木製農耕具を中心に、実際に出土資料を整理している立場から、水田区画の変遷とからませて、長野地域での具体的なあり方を解説していただいた。

(3) 歴史講演会

開催日 8月23日 午後2時～4時

場 所 博物館会議室

講 師 池上裕子氏（成蹊大学助教授）

演 題 「戦国時代の群雄像」

聴講者 98名

内 容 「川中島の戦い」を素材として、上杉謙信・武田信玄像を語っていただいた。

3) 刊 行 物

名 称	発行日	規 格	備 考
長野盆地の文化財 ー祈りの諸態ー	4月18日	A 4 二 っ 折	特別展パンフレット
プラネタリウムの舞台裏	5月30日	〃	プラネタリウムパンフレットNo.44
博物館だより 22号	6月30日	B 5 ・ 4 頁	
いろいろな海の貝	7月5日	A 4 二 っ 折	特別展パンフレット
〃	〃	B 5 ・ 16 頁	特別展図録
星との対話	7月12日	A 4 二 っ 折	特別展パンフレット
天文学者ベッセル	8月29日		プラネタリウムパンフレットNo.45
水・稲・まつり	9月20日	A 4 二 っ 折	特別展パンフレット
〃	〃	B 5 ・ 76 頁	特別展図録
博物館だより 23号	9月30日	B 5 ・ 4 頁	
宵の明星金星	11月14日		プラネタリウムパンフレットNo.46
私たちはひとりぼっち…？ ー地球外に文明を求めてー	2月20日		プラネタリウムパンフレットNo.47
紀要 第1号	3月31日	B 5 ・ 66 頁	
年報 10号	〃	B 5 ・ 46 頁	
収蔵目録 自然3	〃	B 5 ・ 28 頁	
小林家文書目録(一)	4月10日	B 5 版・121頁	

4) 博物館実習

実習生 山下裕子 (信州大学)

町田ゆかり (〃)

伊沢順子 (〃)

和田英理 (〃)

荒井真紀 (〃)

矢崎明美 (日本大学)

期 間 平成4年7月28日～8月2日

実習日程概要

7月28日	実習心得と実習計画、施設見学 機構・沿革・事業・入館者状況 資料の受入と収蔵	7月30日	考古資料の取扱いと整理 自然資料の取扱いと整理
7月29日	天体望遠鏡の取扱い方 館長講話・プラネタリウムの制作	7月31日	歴史資料の取扱いと整理 民俗資料の取扱いと整理
		8月1日	入館者の動線等調査
		8月2日	資料の写真撮影

5 調査研究・収集整理

1) 天 文

太陽黒点の観測

当館では1981年7月より太陽黒点の観測を行っている。当館の観測方法は次の通りである。

投影法によるスケッチ……投影像は直径25cm

使用望遠鏡……15cm屈折望遠鏡 (F 15)

接眼レンズ K40mm



太陽黒点の観測

2) 地 質

① 資料整理

平成5年1月31日現在における地学資料のうち、稲森潤一氏と田中邦雄氏から御寄贈いただいた火成岩及び堆積岩について、長野市立博物館収蔵資料目録自然3を3月末に刊行した。

② 東部町産アケボノソウ化石のクリーニング

本資料は、平成元年7月に小諸市在住の井出秀夫氏が発見し、その後数次に渡って当館へ持ちこまれたものである。これらの化石は、現在茶臼山自然史館でクリーニング作業を進めている。このうち、クリーニングがほぼ終了していた臼歯化石4点を平成4年5月1日に井出秀夫氏より御寄贈いただいた。

また、平成5年度に、クリーニングが終了した左下顎第3大臼歯と平成2年度にクリーニングを終了していた左上顎第三臼歯のレプリカを委託製作した。

3) 歴 史

特筆すべきことはいくつかある。まず、長野市内の行政文書が一括して移管されたことである。また、当館に保存されていた「大日方家資料」を県立歴史館に移管したことである。

まず、行政文書について触れたい。この資料の移管については、その主体は、長野市誌編さん室と長野市の庶務課があたった。従来、長野市の各役場(支所)に未整理のまま残されていたものを、市誌編さん事業の一貫として収集・整理されたものである。資料の総点数は10,000余をかぞえる。現在、仮目録が作成され、その内容を知ることができるようになっている。ただ、これらの資料はあくまでも庶務課の管理するところであり、博物館資料としての扱いをしていない。今後、文書館構想のなかで扱われると思われる。

「大日方家資料」は、北信の中世史を知るうえで重要な資料が含まれている。殊に、「大文字旗」は大塔の戦いのなかで使われたものとされてきた。今回、県立歴史館の建設にあたって、これらの資料を移管することとなった。

この他、今年度は『小林家文書目録』(1)を刊行し、当館としての古文書への理解を示したつ

もりである。

今後、市誌編さん事業が活発化するにしたがって博物館との連帯のなかで、資料の収集がスムーズに行われることを期待したい。

4) 民 俗

民俗調査に関しては、昭和63年に行われた篠ノ井有旅犬石地区の民俗調査を引き継ぎ、集められた資料の整理およびテープおこしを行った。今後も継続調査を行い、社会・経済・信仰・儀礼・口承文芸等を網羅した民俗誌を作成することを目的とする。

5) 職員の活動

島山浩司 『いろいろな海の貝』特別展図録1992

原田和彦 「長野市立博物館における資料保存の諸問題」『信濃』44-12 1992

『小林家文書目録(-)』 1992

「定額寺制試論」(信濃史学会秋期大会報告) 1992

「千曲川流域における古代寺院」(長野市誌・古代中世史分野会夏期合宿報告) 1992

「長野市内出土の墨書土器について」(長野市誌・古代中世史分野会冬期合宿報告) 1993

山口 明 『水・稲・まつり』特別展図録編共著1992

「本村東沖遺跡出土の縄文時代土器について」『本村東沖遺跡』長野市教育委員会1993

6) 研究紀要の発刊

平成4年3月31日 『長野市立博物館紀要』第1号(B5版 66頁)発刊

〈自然〉 大蔵 満:「田中静人氏の太陽黒点観測」

〈考古〉 神村 透:「伊勢宮遺跡の弥生中期初頭土器」

〈歴史〉 原田和彦:「信濃定額寺についての試論」

〈民俗〉 安室 知:「低湿地文化・再考」

III 博物館収蔵資料

1 購入資料

1) 図書

書名	発行所	書名	発行所
丸子町誌・歴史編上・下、歴史資料編	丸子町誌刊行会	楽しい鉱物学	草思社
堀金村誌上・下巻	堀金村誌刊行会	鉱物採集フィールド・ガイド	〃
WIL TIRION SKY ATLAS2000.0	SKY Publishing Corporation	楽しい鉱物図鑑	〃
ATLAS AUSTRALIS 2 巻	〃	ニュートンコレクション第2期全10巻	教育社出版
Handbook of the Constellations		幕末御触書集成第一・二巻	岩波書店
TheMessier Album	SKY Publishing Corporation	ハイパーリアル天文シュミレーションStella Navigator	アスキー出版局
Durer星座絵図2枚		更級植科地方誌第四巻現代編	更級植科地方誌刊行会
Allard星座絵図2枚		駒ヶ根市誌3巻	駒ヶ根市誌刊行会
長野県史	長野県史刊行会	日本版小惑星暦1993	天文ニュースセンター
御代田町誌図説編	御代田町誌刊行会	白山ー自然と文化	北國新聞社
東京人類学会雑誌全10巻	第一書房	新こよみ便利帳	恒星社厚生閣
地理学講座全6巻	古今書房	日本宇宙開発物語	三田出版会
日本のあけぼの全5巻	毎日新聞社	長沼村史	長沼村史刊行会
三角縁神獣鏡	学生社	塩尻市誌第三巻近代・現代	塩尻市
長岡市史別編民俗資料編1考古	長岡市	長野県史ー美術建築資料編ー	長野県史刊行会
類聚近世風俗志	名著刊行会	紀伊半島の文化史的研究考古学編	清文堂
国史第辞典13	吉川弘文館	飯島町誌下巻	飯島町役場
日本考古学用語辞典	学生社	檜ヶ岳地域の地質	地質調査所
目で見る繊維の考古学	染織と生活者	上高地地域の地質	地質調査所
GEOLOGY OF JAPAN	UNIVERSITY OF TOKYO PRESS	大町地域の地質	地質調査所
日本化石図譜	朝倉書房	中野地域の地質	地質調査所
地球の探求	〃	小諸地域の地質	地質調査所
日本にも恐竜がいた	どうぶつ社	5万分の1地質図幅須坂	地質調査所
恐竜の力学	他人書館	5万分の1地質図幅東茂住	地質調査所
絶滅した日本の巨獣	築地書館	5万分の1地質図幅上松	地質調査所
中国古代の天文記録の検証	雄山閣	5万分の1地質図幅伊那	地質調査所
記録と資料	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	5万分の1地質図幅飯田	地質調査所
伊那〔第6巻〕	伊那史学会	5万分の1地質図幅富山	地質調査所
考古学論考小林行雄博士古稀記念論文集	平凡社	日本の鉱山	内田老鶴圃
日本の山地地形	古今書院	鉱物採集フィールドガイド	草思社
造岩鉱物学	東京大学出版会	楽しい鉱物学	草思社
鉱床学概論	〃	楽しい鉱物図鑑	草思社
日本の鉱山	内田老鶴圃	鉱床学概論	東京大学出版会
原色鉱物岩石検索図鑑	北隆館	造岩鉱物学	東京大学出版会

2) 歴史資料

矢代村検地帳 1点
戸隠九頭竜権現画像 1点

2 寄贈資料

1) 図 書

書 名	寄 贈 者
広島市の文化財第47集広島市遺跡分布地図	広島市教育委員会
愛媛の自然（地学その1、岩石、鉱物）	愛媛県立博物館
身のまわりの自然－草花、岩石編－	〃
市川百十郎資料目録	各務原市歴史民俗資料館
赤羽台遺跡－八幡神社地区－	J R 東日本
小田原市郷土文化館研究報告NO. 28	小田原市郷土文化館
研究集録 第28号	小樽市青少年科学技術館
館報 NO. 2	足立区立郷土博物館
さがの人形の家「人とミュージアムとの響き合い」	財団法人イケマン人形文化保存財団
博友会会報 第1号	博友会
浜松市博物館館報 IV	浜松市博物館
図説 浜松の歴史	〃
足立区立郷土博物館紀要－第13号－	足立区立郷土博物館
－特別展－かたどられた祈り－木・紙・薬のフォークローア－	埼玉県立博物館
埼玉県立博物館 紀要－17	〃
埼玉県立博物館館有資料目録Ⅶ	〃
大針貝塚・浮谷貝塚発掘調査報告	〃
瑞浪市化石博物館研究報告第18号	瑞浪市化石博物館
清水遺跡－吐呂川河改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	藤枝市教育委員会
－伝統工芸の世界－結城紬	小山市立博物館
府中市郷土の森紀要 第5号	東京都府中市教育委員会
事業計画－平成4年度－	山形県立博物館
山形県立博物館報 平成3年度	〃
善光寺門前町に関する総合的研究 研究課題番号02451047	研究代表者小俣盛男（信大教育学部）
群馬県立歴史博物館 総合案内	群馬県立歴史博物館
徳島県立博物館 総合案内	徳島県立博物館
大阪市立自然史博物館館報16（平成2年度）	大阪市立自然史博物館
七畠山古墳 範囲確認調査報告書Ⅵ	群馬県藤岡市教育委員会
F12藤岡平地区遺跡群Ⅰ	〃
株木B遺跡 本文編・図版編	〃
研究紀要 29	小松市立博物館
柏原市歴史資料館館報 第3号	柏原市歴史資料館
鳥久保遺跡発掘調査報告書	栃木県小山市教育委員会
日光道西・東原	〃
亀屋・西黒田	〃
年報(5)	群馬県藤岡市教育委員会
歴博 52	国立歴史民俗博物館
長岡市内遺跡発掘調査報告書	長岡市教育委員会
F2緑埜地区遺跡群Ⅱ	群馬県藤岡市教育委員会
年報(6)	〃
「復興と憧憬－19世紀宝飾品の諸相」展示解説VOL. 4	真珠博物館
秀吉・利家・家康	石川県立歴史博物館
長野市大室古墳群発掘調査報告書平成3年度	明治大学文学部考古研究室
東京都高尾自然科学博物館研究報告第15号	東京都高尾自然科学博物館
東京都の自然 第18号	〃
広島養蚕業の歴史と技術	広島市教育委員会
ノリ養殖	〃
松井文庫名品展Ⅲ 能面と能装束	熊本県立美術館
高松塚壁画の新研究	飛鳥資料館

信濃川 千曲川 犀川治水百年記念特集号 グラフしな川・信濃川のはなし	社団法人北陸建設弘済会
大河津資料館10周年記念 流れ別つほとりに	〃
郷土の史—信濃川、大河津分水にまつわる話	〃
信濃川大河津資料館ガイドブック	建設省信濃川工事事務所
信濃川中流域における島虫神の祭祀	長岡市立科学博物館
山北町民俗論集 第1、2集	山北町教育委員会
北九州市立歴史博物館年報15	北九州市立博物館
北九州の豪商たち	〃
平成3年度市原市内遺跡発掘調査報告書	市原市教育委員会
市原市内仏像彫刻所在調査報告書—北部編—	〃
大町・大野町の石造物	市立石川歴史博物館
川的生活誌—そのめぐみと恐れ—	福井県立博物館
岐阜県博物館報 第15号	岐阜県博物館
東京都三宅村伊豆物見処遺跡 1991	国学院大学文学部考古学研究室
長野県木曾郡開田村柳又遺跡A地点第2次発掘調査報告書	〃
北網園文化センター年報—平成元年・2年度	北網園北見文化センター
南町遺跡Ⅲ	北海道北見市教育委員会
松代—真田の歴史と文化—第5号	真田宝物館
写された大田区—懐かしい・まちとくらし—	太田区立郷土博物館
紀要 第2号 1991年度	〃
やまぶき—学校教育のための博物館活用の手引き	川越市立博物館
年報 昭和63年度～平成2年度	岡山県立博物館
館誌・十周年の歩み	塩の道博物館
南部鉱物標本 第33回企画展図録	岩手県立博物館
高井田山古墳	柏原市教育委員会
柏原市埋蔵文化財発掘調査概報	〃
柏原市遺跡群発掘調査概報	〃
柏原市東山地区分布調査概報	〃
平尾山古墳群平野・大県支群	〃
町田市立国際版画美術館年報 昭和62・63年・平成元年度	町田市立国際版画美術館
開館記念 名作に見る日本版画	〃
開館三周年記念 近代日本絵画と画譜・絵手本展	〃
〃 <Ⅱ>	〃
仏教版画入門	〃
魁題百撰相	〃
和漢百物語	〃
奈良・元興寺仏教版画展	〃
関東の仮面	町田市立博物館
亀山城本丸跡	亀山市教育委員会
板橋区立郷土資料館年報第14号平成2年度版	板橋区立郷土資料館
〃 紀要 第9号	〃
研究紀要 第15号	静岡県博物館協会
東山1号墳	豊橋市教育委員会
考古学資料館紀要 第8輯	国学院大学考古学資料館
一宮市博物館年報(2)平成元・2年度	一宮市博物館
企画展 つくる—一宮の職人—	〃
企画展 村瀬太乙の世界	〃
一宮市制施行70周年記念 風景を着る	〃
特別展 棟方志功と佐藤一英	〃
明治大学学芸員養成課程 紀要	明治大学学芸員養成課程
〃 年報	〃
根室市博物館開設準備室紀要第6号	根室市博物館開設準備室
荒神山山西遺跡	長野県辰野町教育委員会
泉城跡	福島県いわき市
埼玉県立自然史博物館研究報告 第10号	埼玉県立自然史博物館
昆虫(1)カメムシ目(異翅半翅類)(1)	〃

平成3年度 松戸市内遺跡発掘調査概報	松戸市教育委員会
八王子市郷土資料館年報 1990	八王子郷土資料館
郷土資料館研究紀要 八王子の歴史と文化 第4号	〃
石川日記(十四)	八王子市教育委員会
展示リサーチブック 自然史・天文	富山市科学文化センター
ガイドブック	〃
富山県八尾井栗谷の化石	〃
富山市立博物館年報 第6号	富山市立博物館
平塚市博物館所蔵資料目録VI	平塚市博物館
1991 平塚市博物館年報 NO.15	〃
1992 自然と文化 NO.15	〃
ガイドブック12 平塚・石仏めぐりー大野地区編ー	〃
栗東歴史民俗博物館 要覧	栗東歴史民俗博物館
貝塚博物館紀要 第19号	千葉市立加曽利貝塚博物館
大分市歴史資料館年報	大分市歴史資料館
九州の土人形ーその歴史と世界ー	〃
紀要 第2号	茅野市ハヶ岳総合博物館
魔除けーまじないの民俗ー	群馬県立歴史博物館
水辺の環境平成4年第8号	長野県水辺環境保全研究会
小学校社会科資料集高学年用 わたくしたちの郷土	長野市教育会
山岳信仰から経塚へ	斎宮歴史博物館
朝鮮通信使ー江戸時代の親善外交ー	岐阜市歴史博物館
横浜開港資料館館報 「開港のひろば」復刻版I(第1号〜第34	横浜開港資料館
「イリュストラシオン」日本関係記事集第1巻〜第3巻	〃
研究紀要 5 1991年	岐阜市歴史博物館
仙台市博物館調査研究報告 第12号	仙台市博物館
大阪市立博物館報 NO.31	大阪市立博物館
好奇心の博物館	仙台市博物館
仙台市博物館三十年史	〃
郷土と博物館 第37巻 第1、2号	鳥取県立博物館
鳥取県立博物館研究報告 第29号	〃
長野大学紀要	長野大学産業社会学部
EXHIBITION OF PHOTOGRAPHY	日本写真家協会
筑波大学先史学・考古学研究 第3号	筑波大学歴史・人類学系
中馬堀遺跡	横須賀市教育委員会
台の坂遺跡	〃
岩戸満願寺	〃
埋蔵文化財発掘調査概報集I	〃
ながの県勢要覧 平成3年版	長野県統計協会
統計でみる長野県のすがた	〃
三水村の文化財 (2冊)	三水村教育委員会
文豪中河与一寄贈コレクション展	小田原市郷土文化館
自然教育園報告 第23号	国立科学博物館附属自然教育園
士別市立博物館報告 第10号 1992	士別市立博物館
博物館周辺の自然観察	〃
考古学における計量分析	帝塚山考古学研究所
第5回考古学におけるパーソナルコンピュータの利用の現状	〃
考古学における熱ルミネッセンス年代測定	〃
復刻版博物館ノート NO.1〜NO.50	大田区立郷土博物館
埴輪の誕生	〃
佐野市郷土博物館年報	佐野市郷土博物館
佐野八幡山古墳とその時代	〃
収蔵資料目録III 自然・考古資料	千葉県立大利根博物館
川と古文化	〃
神奈川県立博物館研究報告ー人文科学ー第18号	神奈川県立博物館
石川条里遺跡(6) 2冊	長野市教育委員会

上淵名裏神谷遺跡 三室間ノ谷遺跡	群馬県埋蔵文化財調査事業団
憲政記念館の二十年	憲政記念館
広島県的重要文化財Ⅰ	広島県立歴史博物館
明王院	〃
静岡市の埋蔵文化財	静岡市教育委員会
賤機山古墳	〃
九日市	船橋市郷土資料館
平成3年度 船橋市郷土資料館年報	〃
「三市合同巡回企画展示」資料観覧の手びき	〃
近年の発掘調査による考古学の成果 (2)	〃
第59回展示 展示資料観覧の手引	〃
第61回展示 資料観覧の手びき	〃
長野県埋蔵文化財センター年報8	長野県埋蔵文化財センター
秩父・吉田町遺跡分布調査報告書	埼玉県秩父郡吉田町教育委員会
秩父・大畑遺跡 発掘調査報告書	埼玉県秩父郡荒川村教育委員会
村瀬の人形芝居	埼玉県秩父郡横瀬村教育委員会
我孫子市鳥の博物館調査研究報告第一巻	我孫子市鳥の博物館
帝塚山学園創立50周年記念 前方後円墳を考える	帝塚山考古学研究所
沼津市博物館紀要 16	沼津市歴史民俗資料館 沼津市明治史料館
(歴史1) 豆州君沢郡小海村	沼津市歴史民俗資料館
国立歴史民俗博物館研究報告 第37集～40集	国立歴史民俗博物館
三宅家文書目録	岐阜市歴史博物館
岐阜市歴史博物館年報 平成3年度NO.6	岐阜市歴史博物館
平成4年度 長野市所在 指定文化財所有者・管理者研修会	長野市教育委員会
平成2年度 年報	北海道立北方民族博物館
日本研究第6集	国際日本文化研究センター
研究紀要一9一	群馬県埋蔵文化財調査事業団
下牧小竹遺跡	〃
東北の風景	石巻文化センター
館報	秋田県立博物館
秋田県立博物館研究報告	〃
研究報告ー人文科学ー	千葉県立中央博物館
NATURAL HISTORY RESEARCH	〃
自然誌研究報告	〃
研究紀要 第8号	埼玉県埋蔵文化財調査事業団
年報一11一平成2年度	〃
熊谷市 北島遺跡	〃
坂戸市 宮町遺跡一Ⅰ一	〃
〃 一Ⅱ一	〃
東松山市 山王裏・中原遺跡	〃
毛呂山町 堂山下遺跡	〃
北埼玉郡騎西町 小沼耕地遺跡	〃
坂戸市 塚の越遺跡 Ⅲ	〃
大里郡岡部町 樋詰・砂田前 Ⅱ	〃
熊谷市 北島遺跡 Ⅲ	〃
東松山市 児沢北遺跡	〃
川本町 竹之花・下大塚・円阿弥遺跡	〃
榎垣外・扇平・唐傘平・梨平遺跡 発掘調査報告書(概報)	長野県岡谷市教育委員会
藤岡市文化財探訪のしおり	藤岡市教育委員会
明治大学刑事博物館資料第14集	明治大学刑事博物館
明治大学刑事博物館年報 23	〃
内藤家文書増補・追加目録(1)(2)	〃
千曲川周辺における鳥類の生息状況とその環境への影響	長野県林務部
神奈川県立博物館研究報告自然科学21号	神奈川県立博物館
神奈川自然誌資料13	〃
尼崎市の指定文化財	尼崎市教育委員会

鳥羽水族館年報	鳥羽水族館
五郎兵衛新田古文書目録 第五集	浅科村教委委員会
法蔵寺の歴史と美術	彦根城博物館
宮ヶ谷戸遺跡	宮ヶ谷戸遺跡調査会
板橋の古文書・古記録 二	板橋区教育委員会
板橋古文書調査目録	〃
赤塚城跡遺跡	板橋区教育委員会
板橋区文化財年報創刊号	〃
徳丸東遺跡	〃
成増一丁目遺跡発掘調査報告	成増一丁目遺跡（B地点）調査会
研究連絡誌 第33号・34号	千葉県文化財センター
研究紀要 13	〃
博物館学紀要 第16輯	国学院大学博物館学研究室
信州書芸展図録	信州書芸会
薮越遺跡	下伊那郡上郷町教育委員会
要覧 1992	神奈川大学日本常民文化研究所
顔のメッセージ	安城市歴史博物館
古山の生業と生活	相模原市教育委員会
三増の獅子舞	〃
相模原の底生動物	〃
相模原軍都計画と地域変化	〃
研究報告第1集	〃
博物館建設予定地動植物調査報告書	相模原市動植物調査会
研究紀要 第14号	埼玉県立歴史資料館
〃 第15巻	名古屋市博物館
尾張の歴史	〃
館報	千葉市郷土博物館
妙見信仰調査報告書	〃
市内遺跡発掘調査報告C-1号遺跡-第3次調査-	大宮市教育委員会
大宮市遺跡調査会報告 第32集	大宮市遺跡調査会
〃 33	〃
〃 34	〃
〃 35	〃
帝京大学山梨文化財研究所研究報告第3集	帝京大学山梨文化財研究所
館報 15	山口県立山口博物館
研究報告 第18号	〃
山口県の自然 第52号	〃
太古からのメッセージ	日野市ふるさと博物館
日野市ふるさと博物館紀要	日野市教育委員会
千曲川	長野県教育委員会
松代群発地震資料報告NO.29	松代地震センター
運営打合せ会議資料	〃
仙台市科学館研究報告	仙台市科学館
〃 年報	〃
年報	岩手県立博物館
年報	徳島県立博物館
博物館紀要 第5号	福島県立博物館
図説 福島 of 古墳	〃
埋蔵文化財年報 NO. 5	福岡市教育委員会
福岡市埋蔵文化財調査報告書 第271集	〃
〃 272	〃
〃 273	〃
〃 274	〃
〃 275	〃
〃 276	〃
〃 277	〃
三苦遺跡	
立花寺 1	
箱崎 3	
堅粕 1	
麦野 A	
雑餉隈遺跡 I	
南八幡遺跡 2	

福岡市埋蔵文化財調査報告書 第278集	警弥郷 B 遺跡	福岡市教育委員会
〃 279	大橋 E 遺跡 3 次調査	〃
〃 280	博多25	〃
〃 281	〃 26	〃
〃 282	〃 27	〃
〃 283	〃 28	〃
〃 284	〃 29	〃
〃 285	〃 30	〃
〃 286	〃 31	〃
〃 288	〃 33	〃
〃 289	〃 比恵遺跡群(1)	〃
〃 290	〃 那珂遺跡 4	〃
〃 291	〃 那珂 5	〃
〃 292	〃 〃 6	〃
〃 295	〃 原遺跡 6	〃
〃 296	〃 飯倉 A 遺跡	〃
〃 297	〃 野芥遺跡	〃
〃 298	〃 瀬戸口古墳群	〃
〃 299	〃 カルメル修道院内遺跡 II	〃
〃 300	〃 野方久保遺跡 I	〃
〃 301	〃 草場古墳群	〃
〃 302	〃 田村遺跡 VIII	〃
〃 303	〃 吉武遺跡群 V	〃
〃 304	〃 太田遺跡	〃
〃 305	〃 拾六町平田遺跡	〃
〃 306	〃 徳永遺跡 (II)	〃
〃 307	〃 有田小田部 15集	〃
〃 308	〃 〃 16集	〃
〃 309	〃 山ノ鼻 1 号墳	〃
〃 310	〃 入部 III	〃
〃 311	〃 脇山 III	〃
〃 312	〃 脇山 IV	〃
〃 315	〃 鴻臚館跡 II	〃
愛宕山古墳		愛宕山古墳調査委員会
読谷村立歴史民俗資料館紀要		読谷村教育委員会
岐阜県博物館調査研究報告 第13号		岐阜県博物館
飛驒のあけぼの		〃
地域文化 NO.21		八十二文化財団
年報平成 2 年度 研究紀要 第 2 号		杉並区立郷土博物館
和名類聚抄		名古屋市博物館
平成 3 年度年報		米見市立博物館
中村屋文書 その一、二		〃
秀郷流藤原氏の系譜		小山市立博物館
火焰形土器のクニ		十日町市博物館
梶子遺跡 VIII		浜松市文化協会
国鉄浜松工場内遺跡発掘調査報告書 V		浜松市遺跡調査会
上野国分僧寺・尼寺中間地域(6)図表編 本文編 写真図版編		群馬県教育委員会
矢田遺跡 III		群馬県里蔵文化財調査事業団
黒熊中西遺跡(1)		〃
地震学会ニュースレター		地質学会
宮城家文書目録		富山市郷土博物館
中野地域の地質		地質調査所
研究紀要 第 5 集		千葉県立上総博物館
唐崎台		市原市教育委員会
村上城跡		〃
白船城跡		市原市文化財センター

大和田遺跡	市原市文化財センター
今富大道遺跡	〃
千草山遺跡・東千草山遺跡	〃
一不特定遺跡発掘調査報告(1)ー	〃
福増山ノ神遺跡発掘調査報告書	〃
市原市姉崎東原遺跡	〃
市原市叶台遺跡	〃
市原市小谷1号墳	〃
市原市奈良大仏台遺跡	〃
奉免上原台遺跡	〃
大宮市立博物館研究紀要	大宮市立博物館
家紋	石川県立歴史博物館
考古資料図録Ⅶ	横須賀市人文博物館
横須賀市博物館研究報告(人文科学)	〃
〃(自然科学)	〃
横須賀市博物館資料集第16号	〃
〃第18号	〃
三浦半島の自然環境	横須賀市自然博物館
土のキャンパス 縄文土器のデザイン	安城市歴史博物館
資料館報	日本大学農獣医学部資料館
小樽が「市」になったころ	小樽市博物館
房総漁業のルーツを探る	千葉県立安房博物館
博物館報	横須賀市自然博物館 横須賀市人文博物館
古墳出現期の文化	上田市立信濃国分寺資料館
小山市立博物館報	小山市立博物館
三陸沿岸の漁撈用具	石巻文化センター
山河彩麗 梓	田中邦雄
豊岡市文化財調査報告書集1989年度	豊岡市教育委員会
上鉢山・東山墳墓群	〃
八戸のイカ釣	八戸市博物館
1990年度 年報Ⅱ	財団法人 栗東町文化体育振興事業団
平沢区有文書目録	沼津市明治史料館
博物館要覧 平成4年度	富士市立博物館
館報 NO.7	明治大学考古学博物館
下犬塚遺跡発掘調査報告書	栃木県小山市教育委員会
江原素六生誕百五十年記念誌	沼津市明治史料館
長野県信濃美術館美術調査書第2号	長野県信濃美術館
館報 NO.7	〃
特別展 気象一空となかよくー	富士市科学文化センター
西宮市立郷土資料館報 平成3年度	西宮市郷土史料館
愛媛の自然 第1号～第6号	愛媛県立博物館
えひめ青少年活動クラブ 研究報告	〃
筑波大学芸術研究科案内	筑波大学芸術研究科
研究紀要 1991	高知県立歴史民俗資料館
仙台市博物館年報 第19号	仙台市博物館
林子平ーその生涯と思想ー	〃
郊外生活のすすめ 1900/1950	西宮市立郷土資料館
ミュージアム・マガジン・ドーム	日本文教出版株式会社
定本 信州の浮世絵	郷土出版社
長野市芋井地区歴史年表	風間千尋
サハリン先住民の精神世界	北海道立北方民族博物館
埋蔵文化財発掘調査概報集	相模原市教育委員会
視聴覚教育センター年報	豊橋市 〃
研究紀要 第5号	熊本県立美術館
史跡慧日寺跡環境整備基本計画	磐梯町教育委員会
〃 保存管理計画書	〃

小池遺跡	群馬県群馬町教育委員会
井出地区遺跡群	〃
特別展 大航海時代の天文学	千葉県立郷土博物館
プラネタリウム学芸報 NO. 5	〃
地方刊行誌における服装研究の特質と動向	田中昌美
神奈川県立博物館年報	神奈川県立博物館
特別展解説 下駄	沼津市歴史民俗資料館
甦る古代の群馬	群馬県立歴史博物館
地震観測所技術報告第11号	気象庁地震観測所
豊橋市二川宿本陣資料館展示案内	豊橋市二川宿本陣資料館
信州	昭文社
熊本市自然文化資料集成	熊本市立熊本博物館
〃 IV	〃
岩屋観音と大岩寺展	豊橋市二川宿本陣資料館
E N E R G Y	エネルギー教育情報センター
豊橋市自然史博物館年報第4号	豊橋市自然史博物館
第16回特別企画展 日本のチョウ	〃
日本醤油業界史	左治木祥司
まほろば	〃
日本の屋根	〃
味の素の50年 〃	〃
しょうゆ分析法	〃
味噌沿革史	〃
安田銀行六十年誌	〃
くらしの造型図だけ	武蔵野美術大学美術資料図書館
〃 展示資料目録	〃
真珠博物館報	ミキモト真珠島
伊豆の仏像 南部編	上原仏教美術館叢書
農耕習俗と農具(II) - 神奈川の鎌 -	神奈川県立博物館
マイ信州	アース工房
半田山F 古墳群	㈲浜松市文化協会
瓦屋西古墳群II	〃
川山遺跡発掘調査報告書	〃
春日居町郷土館展示解説図録	春日井町郷土館
門跡尼寺の名寶	財団法人霞会館
有玉西上地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 上・下巻	財団法人浜松市文化協会
すし・グルメの歴史学	岐阜市歴史博物館
館藏品図録 考古編「須恵器」	〃
藤原京跡の便所遺構	奈良国立文化財研究所
飛鳥・藤原宮発掘調査概報21・22	〃
東北歴史資料館年報 平成3年度	東北歴史資料館
田中忠三郎コレクション目録	アイヌ民俗博物館
縄文の祈り - 北海道の土偶	苫小牧市博物館
年報 - 平成3年度版 -	〃
研究報告 第2号	〃
昆虫類所蔵資料目録 - 蝶類篇 -	〃
長野大学紀要	長野大学産業社会学部
日光山地の狩猟習俗	栃木県立博物館
穂別町立博物館報	穂別町立博物館
〃 研究報告	〃
プラネタリウム会報	日本プラネタリウム研究会
新井の郷土資料	新井市教育委員会
「北の歴史・文化交流」研究事業 - 中間報告 -	北海道開拓記念館
北海道博物館等施設所蔵資料等概況 - 民俗関係 -	〃
北海道開拓記念館調査報告	〃
北海道開拓記念館研究年報第20号	〃

北海道開拓の村整備事業のあゆみ	北海道開拓記念館
池田道夫氏資料目録	〃
生活 II	〃
積丹半島の自然と歴史－自然編－	〃
北海道開拓記念館ガイドブック	〃
新常設展示公開記念誌－常設展示案内－	〃
常設展示図録	川越市立博物館
月と太陽	土浦市立博物館
第7回青少年科学活動指導者研修実施要項	国立科学博物館
山梨県一宮町 松原遺跡	一宮町教育委員会
長野県短期大学紀要第44～46号	長野県短期大学
標茶町郷土館報告 第6号	標茶町郷土館
標茶町郷土館収蔵・展示資料目録(3)	〃
NKH、長岡市立科学博物館報NO.61	長岡市立科学博物館
長岡市立科学博物館研究報告第27号	〃
川崎市市民ミュージアム紀要 第4集	川崎市市民ミュージアム
御殿前遺跡III	東京都北区教育委員会
中里遺跡	〃
西ヶ原遺跡群滝野川支所地点 中里峽上遺跡滝野川教会地点	〃
年報 (7)	群馬県藤岡市教育委員会
稲荷通り遺跡	〃
F14藤岡平地区遺跡群II	〃
七裏山古墳	〃
藤岡東部地区遺跡群 (III)	〃
図書資料目録 (上) (下)	郵政研究所附属資料館
資料図録 NO.45	〃
〃 NO.46	〃
郵便創業前の記録 袋井郵便御用取扱所史料 (その1)	〃
国立歴史民俗博物館研究報告第38集	国立歴史民俗博物館
〃 第42集	〃
長崎市立博物館報 (第32号)	長崎市立博物館
〃 資料図録 I	〃
釧路市立博物館紀要第17輯	釧路市立博物館
歴史資料目録(2)－丹葉節郎氏資料－	〃
福岡市埋蔵文化財センター年報	福岡市埋蔵文化財センター
神酒口－岡村コレクションを中心に－	府中市郷土の森博物館
氷見市バイパス関連遺跡調査報告 I	氷見市教育委員会
館報 第13号	埼玉県立歴史資料館
年報 平成3年度	名古屋市博物館
企画展 蒔絵師 春正	〃
日本の美と匠	〃
軽井沢を育てた森林の源流をさぐる－軽井沢植林史－	追分宿郷土館
布施辰治関係資料収蔵品目録	石巻文化センター
年報 平成3年度	知立市歴史民俗資料館
西中神明社南遺跡	知立市教育委員会
長野市地附山地滑り 災害報告 (3冊)	丸山孝四郎
長野市地附山地すべり 証憑 (3冊)	〃
日本考古学研究所 集報XIV	日本考古学研究所
博物館資料集1 白洲ふくさ人形	浜松市博物館
鹿島遺跡発掘調査報告書	静岡県菊川町教育委員会
堂橋遺跡発掘調査報告書	〃
堀田遺跡発掘調査報告書	〃
川上村誌 先土器時代	川上村教育委員会
釜－川漁と生活	安城市歴史博物館
カシヨ株式会社100周年記念誌	カシヨ株式会社
斎宮歴史博物館 研究紀要1	斎宮歴史博物館

斎宮編年史料集 1	〃
小山市立博物館紀要 3号	小山市立博物館
米沢市立上杉博物館年報vol 3	米沢市立上杉博物館
年報平成3年度〔第13号〕	日立市郷土博物館
平成4年度 教育要覧	長野市教育委員会
群馬県立文書館収蔵文書目録 10	群馬県立文書館
群馬県行政文書件名目録 第5集	〃
双文 第9号	〃
読谷村立歴史民俗資料館年報第17号	読谷村立歴史民俗資料館
読谷村民話資料集11 楚辺の民話	〃
上州利根川の水運	富山市科学文化センター
飛鳥の工房	奈良国立文化財研究所飛鳥資料館
東洋陶磁―山田義雄コレクション―	町田市立博物館
三国湊と俳諧	みくに龍翔館
龍蛇のまつり・伝説	奈良県立民俗博物館
恐竜一謎とロマン―	岐阜県博物館
市立市川歴史博物館年報	市立市川歴史博物館
みつけた！発掘物語	石川県立歴史博物館
中世若狭を駆ける―若狭武田氏とその文化	福井県立若狭歴史民俗資料館
美作の白鳳寺院	津山郷土博物館
広瀬臺山	〃
津山松平藩町奉行日記―	〃
田中沖遺跡Ⅱ (2冊)	長野市教育委員会
南宮遺跡 (2冊)	〃
篠ノ井遺跡群(4)―聖川堤防地点―	〃
塩崎遺跡群(7) (2冊)	〃
沖縄県立博物館紀要 第18号	沖縄県立博物館
沖縄県立博物館年報 NO.25	〃
古代の出雲と朝鮮半島	島根県立八雲立つ風土紀の丘
旧石器時代の狩りと暮らし	野田市郷土博物館
会津高原たていわ	大宮市立博物館
立教大学博物館研究	立教大学
1991年度 年報	財団法人亜東町文化体育振興事業団
再発見からくりの世界	知立市歴史民俗資料館
史跡慧日寺跡Ⅶ	磐梯町教育委員会
金沢城宝暦古絵圖と加賀藩領支配地古絵圖等特別展圖録	多川家歴史史料館
昭和大修理勸進 善光寺展	善光寺
ルイス・ニシザワ展	長野県信濃美術館
職人の技	小松市立博物館
埋蔵文化財発掘調査年報 2	太田市教育委員会
長福寺遺跡発掘調査概報	〃
中国浙江省文物展	栃木県立博物館
年報 第9号 平成3年度	八戸市博物館
歴博 55	国立歴史民俗博物館
歌仙絵の世界	埼玉県立博物館
調査研究報告 第5号	埼玉県立さきたま資料館
資料館報 NO.23	〃
さきたま將軍山古墳と銅鏡	〃
市原地方史研究第17号	市原市教育委員会
教育のあゆみ―初等教育を中心に―	真壁町歴史民俗資料館
佐和山城とその時代	彦根城博物館
市原市史資料集(近代編Ⅰ)	市原市
ヤマドリ展	我子系子市鳥の博物館
千葉県文化財センター年報 NO.17	勸千葉県文化財センター
下小名田遺跡(その1)～(その3)	淡神文化財協会
美濃の水指	瑞浪陶磁資料館

紀伊大谷古墳	和歌山市立博物館
近世日本医学と華岡青洲	〃
加藤雨月展	氷見市立博物館
大津市歴史博物館年報	大津市歴史博物館
織る一繭から織物まで一	世田谷区教育委員会
社寺参詣と代参講	世田谷区立郷土資料館
なつかしいおもちゃ	上田市立博物館
今田無極遺愛茶道具美術品展	小田原市郷土文化館
北海道立北方民族博物館研究紀要第1号	北海道立北方民族博物館
狭山の指定文化財	狭山市立博物館
室生犀星 文学アルバム	大田区立郷土博物館
兵庫県立西はりま天文台公園園報 平成3年度	兵庫県立西はりま天文台公園
中世の佐野	佐野市郷土博物館
兵庫県立西はりま天文台公園園報 平成2年度	兵庫県立西はりま天文台公園
広島県の重要文化財 2	広島県立歴史博物館
土屋家の茶の湯	土浦市立博物館
第1回全国の天体観測施設の会	兵庫県立西はりま天文台公園
瑞巖寺	仙台市博物館
瑠璃寺の秘宝	飯田市美術博物館
布を織る一原始機から高機まで一	茅野市八ヶ岳総合博物館
高井田横穴群 IV	柏原市教育委員会
豊田史料叢書	豊田市教育委員会
炎のなかから生まれた近代	足立区立郷土博物館
江戸の旅と流行仏一お竹大日と出羽三山一	板板区立郷土資料館
挙母藩内藤家展	豊田市郷土資料館
大竹千明・光代夫妻寄贈品展	〃
川崎市市民ミュージアム年報	川崎市市民ミュージアム
天上へ向かうかたち一さまざまな塔一	埼玉県立歴史資料館
明日をつくるメソドロジ一	三和総合研究所コンサルティング部
くらしっく自転車図鑑	調布市郷土博物館
本郷大塚古墳	須坂市教育委員会 須坂市本郷大塚古墳発掘調査団
高井田横穴群	柏原市立歴史資料館
柴田方庵目録 三	日立市郷土博物館
甲州道中を旅する	八王子市郷土資料館
埋蔵文化財発掘調査概報	京都府教育委員会
尾張地域の考古資料に関する文献資料調査「戸山屋敷銅鐸考」「瓦礫舎」	名古屋博物館
絞り一美を染める世界の技一	〃
縄文土器その心象世界	山梨県立考古博物館
天下人の時代	〃
要覧	〃
川越の名刀展	川越市立博物館
間山一岡山遺跡緊急発掘調査報告書一	中野市教育委員会
栗林遺跡第IX次発掘調査報告書	〃
高梨氏館跡発掘調査概報III	〃
橋津組大庄屋日記(二)	別府大学付属博物館
展示ガイドブック	兵庫県立人と自然の博物館
長野大学紀要 第14巻第2号	長野大学産業社会学部
長野県美術全集 2	郷土出版社
吹田の歴史と文化 常設展示図録	吹田市立博物館
北摂の仏教美術一聖と民衆の祈り一	〃
埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第106集～121集	埼玉県埋蔵文化財調査事業団
国立歴史民俗博物館研究報告第43・44集	国立歴史民俗博物館
まじない・まつり・いのり一湖北の埋蔵文化財一	市長浜城歴史博物館
柴田方庵日録一・二・撮要	日立市郷土博物館
近江と黄檗宗の美術	亜東歴史民俗博物館
四季耕作図の世界一描かれた農事風景一	〃

職人のわざ	福岡県鞍手町歴史民俗資料館
鞍手町歴史民俗資料館－展示解説図録－	〃
第4回 大理石彫刻家シンポジウム 1992	第4回長野県佐久大理石彫刻家シンポジウム実行委員会
運搬具	神奈川大学日本常民文化研究所
岩宿時代	岩宿文化資料館
市立函館博物館研究紀要 第2号	市立函館博物館
描かれた箱館・五稜郭	〃
箱館開港とペリーの足跡	〃
維新の激動	〃
近世に輝く濃飛の群像	岐阜県博物館
いわき市立美術館年報 平成3年度	いわき市立美術館
作家たちの抽象	〃
史跡 森將軍塚古墳	長野県更埴市教育委員会
奥州葛西氏とその周辺	石巻文化センター
日光山輪王寺の仮面	町田市立博物館
瑞浪陶磁資料館研究紀要 第5号	瑞浪陶磁資料館
高知県歴史民俗資料館年報	高知県歴史民俗資料館
異民族へのまなざし「古写真に刻まれたモンゴロイド」	東京大学総合研究資料館
財団法人 致道博物館総合案内	財団法人致道博物館
岡山市立オリエント美術館総合案内	岡山市立オリエント美術館
勝光院 文化財総合調査報告	世田谷区教育委員会
世田谷区史料叢書 第七巻	〃
続石井至毅著作集	〃
世田谷の歴史と文化 展示ガイドブック	〃
事業概要 平成3年度	板橋区立教育科学館
研究連絡誌	千葉県文化財センター
古墳時代(2)	〃
徳島市立徳島城博物館への招待	徳島市立徳島城博物館
〃 要覧	〃
柳・橋・水車の意匠	〃
沖縄の貝類～海からのおくりもの～	沖縄県立博物館
仲嶺俊子貝類コレクション標本目録	〃
近世・近代史料目録総覧	国文学研究資料館史料館
福岡市博物館常設展示案内	福岡市博物館
日本研究 第7集	国際日本文化研究センター
二之宮千足遺跡 1992	群馬県教育委員会
平成3年度・兵庫県立西はりま天文台年報・第2号	兵庫県立西はりま天文台公園
信長の世界	安土城考古博物館
常設展示解説	〃
平成元年度収集 収藏品目録	福岡市立博物館
研究紀要第2号	〃
書上本山 波志江六反田 波志江天神山 遺跡	群馬県教育委員会
歴博56	国立歴史民俗博物館
吉備の古代王国	長野市埋蔵文化財センター
自然保護への道	〃
水辺環境(旧・水辺の会)	長野県水辺環境保全研究会
北上市立博物館 20年のあゆみ	北上市立博物館
北上市立博物館研究報告 第8号	〃
みちのく民俗村にみた北上川流域の民家とその発達	〃
科学の目でみる文化財	国立歴史民俗博物館
弾・吹・打ー日本の楽器とその系譜	〃
地域文化NO.23	財団法人八十二文化財団
黄金花咲く みちのく展	監電神社博物館
博物館概要	千葉県立上総博物館
「日本の郷土人形」ー房総・芝原人形の系譜ー	〃
古墳時代の造形ー古代金工品にみる技術と美ー	〃

上田市文化財調査報告書第37集 林之郷・八千原	上田市教育委員会
〃 第38集 大道下	〃
〃 第39集 高田	〃
〃 第40集 池田山古墳	〃
〃 第42集 上田藩主屋敷跡	〃
〃 第44集 神林遺跡 下郷古墳群	〃
〃 第45集 日影遺跡 田中遺跡	〃
〃 第46集 市内遺跡	〃
やまがたと最上川ー上方文化との交流ー	山形県立博物館
山形県立博物館研究報告 第12・13号	〃
山形県立博物館収蔵資料目録ー民俗資料目録Ⅰー	〃
写真に見る気仙ー明治・大正・昭和初期ー	大船渡市立博物館
研究紀要 NO. 7	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館
上高津貝塚の発掘ー史跡整備に伴う調査の概要ー	土浦市教育委員会 土浦市遺跡調査会
木田余台	土浦市教育委員会
平成元年度 市立市川考古博物館年報 第18号	市立市川考古博物館
平成2年度 市立市川考古博物館年報 第19号	〃
堀之内貝塚資料図譜	〃
御嵩町史ー通史編上・付図①②	御嵩町
長野県短期大学紀要 第47号	長野県短期大学
くらしのなかの技術ー見学のしおりー	千葉県立上総博物館
愛媛の自然 第7号〜12号	愛媛自然科学教室
飯能の石造遺物ー連体のエネルギーー	飯能市教育委員会
福井市立郷土歴史博物館館報 復刊第17号	福井市立郷土歴史博物館
金屋氏家譜	〃
蒔絵の名品とその意匠	〃
ASTRO CALENDAR 1993	山中町婦人児童館
千葉県立房総風土記の丘年報 15	千葉県立房総風土記の丘
引札ー明治・大正の商業広告ー	岐阜市歴史博物館
黄檗ー禅と芸術ー	〃
高取町与楽古墳群 奈良県立文化財調査報告書(本文編・図版編)第56集	奈良県立橿原考古学研究所
大淀町大岩古墳群 〃 第57集	〃
山辺郡都祁村 シントク古墳群 〃 第60集	〃
東安堵遺跡Ⅱ 〃 第61集	〃
近内古墳群 〃 第62集	〃
北野腰越遺跡 〃 第63集	〃
橿原市 大畑遺跡 〃 第64集	〃
橿原考古学研究所紀要 考古學論攷 第15冊	〃
〃 第16冊	〃
橿原考古学研究所年報 16	〃
〃 17	〃
奈良県遺跡調査概報(第一分冊)	〃
〃(第二分冊)	〃
第9回公開講演会資料	〃
寺口忍海古墳群	新庄町教育委員会
当麻石光寺と弥勒仏 概報	〃
上三ヶ尾宮前 1991	野田市教育委員会
山崎上宿遺跡ー附・東新田野馬除土堤遺跡ー	〃
板橋の遺跡	板橋区立郷土資料館
日本の地すべり	砂防広報センター
山車彫刻の技Ⅱ 彫常	半田市立博物館
年報 平成元年度	〃
〃 平成2年度	〃
半田山車祭り	〃
神奈備の山ー山岳信仰と筑波山ー	土浦市立博物館
斎宮歴史博物館年報	斎宮歴史博物館

おもちゃの文化史

年報 第1号

小樽市博物館紀要 第6号

南多摩窯跡群

年報 平成3年度

半田市立博物館展示解説

安城市歴史博物館 年報 第1号

〃 見学の手引

玉津田中遺跡発掘調査報告書 I

高浜市制20周年記念市勢要覧

高浜市誌資料

松代藩文化施設の概要

長野大学紀要 第14巻第3号

テーマ展—鯨が躍れば世も動く—

近代日本の女性と政治特別展展示目録—婦人参政への歩み—

平成3年度 年報

マヤ 歴史と民族の十字架

一般国道4号(新4号国道)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の経過(平成2年度)

埋蔵文化財センター年報 第2号

研究紀要 第3号

伊藤深水 全木版画

野毛大塚古墳

下野毛遺跡II

1990年度世田谷区埋蔵文化財調査年報

蛇崩遺跡

諏訪山遺跡II

〃 III

善光寺平を掘る

伊那民俗研究 第3号

地球惑星科学関連学会 1993年合同大会プログラム

神奈川県立博物館研究報告自然科学22号

行楽・観光・レジャー—余暇の近代化

豊田史料叢書

国立歴史民俗博物館研究報告 第45集

〃 第46集

博物館実習報告 第8号

日本の刀 その美と変遷

要覧

再発見 安城の文化財

文人・石川丈山の世界

明治の三大用水

水とくらし

九州歴史資料館年報

研究論集 17

熊本県立美術館年報 平成3年度

新発見川中島合戦図屏風の世界

戦国を生き抜いた大名 伊達政宗

徳島市立徳島城博物館への招待

〃 要覧

歴博 57

年報

鳥羽遺跡A. B. C. D. E. F. G

研究紀要 10

国立歴史民俗博物館研究報告第41集

渡辺三大臣と旧渡辺家住宅

仙生山法然寺の名宝展

安城市歴史博物館

〃

小樽市博物館

東京造形大学宇津貫校地内埋蔵文化財発掘調査団

半田市立博物館

〃

安城市歴史博物館

〃

淡神文化財協会

高浜市

〃

長野市教育委員会

長野大学

埼玉県立博物館

憲政記念館

北海道立北方民族博物館

〃

栃木県文化振興事業団

〃

彦根城博物館

大田区立郷土博物館

世田谷区教育委員会

〃

〃

〃

〃

〃

長野県埋蔵文化財センター長野調査事務所

柳田國男記念伊那民俗学研究所

東京都立大学教養部

神奈川県立博物館

栃木県立博物館

豊田市教育委員会

国立歴史民俗博物館

〃

お茶の水女子大学

岡山県立博物館

大阪科学技術センター

安城市歴史博物館

〃

〃

富士市立博物館

九州歴史資料館

〃

熊本県立美術館

和歌山県立博物館

徳島市立徳島城博物館

〃

〃

国立歴史民俗博物館

群馬県埋蔵文化財調査事業団

〃

〃

国立歴史民俗博物館

旧渡辺家住宅保存協会

高松市歴史資料館

ふるさと北尾張部	長野市北尾張部区
大地から見た高松の歴史	高松市歴史資料館
灘の酒づくりー文化財資料・第37集ー	西宮市教育委員会
調布市上布田遺跡ー第2地点の調査ー	調布市教育委員会
調布市上ヶ給遺跡ー第10地点ー	〃
埋蔵文化財年報 1989	〃
〃 1990	〃
川崎市市民ミュージアム紀要 第1集	川崎市市民ミュージアム
〃 第2集	〃
〃 第3集	〃
〃 第4集	〃
常設展示ガイドブック	諏訪市博物館
氷見の婚礼装束展	氷見市立博物館
荒砥北三木堂遺跡II	群馬県教育委員会
昭和小学校百年誌	昭和小学校
千葉県立房総のむら年報6	千葉県立房総のむら
〃 資料調査報告書第8集	〃
ー民家を造る職人ー 茅葺き師	世田谷区教育委員会
森本六爾氏生誕90周年記念「二粒の粳」展	桜井市立埋蔵文化財センター展示収蔵室
縄文から弥生へ	名古屋市博物館
名古屋市博物館館蔵品目録 第1分冊 総集・考古編	〃
尾張清須城主松平忠吉ー関ヶ原を駆け抜けた武将ー	〃
民具のこころ	真壁町歴史民俗資料館
魚津水族館年報 第3号1992	魚津水族館
覇権をめざした英雄たち 大友宗麟とその時代	大分市歴史資料館
戦国大名大友宗麟ーその実像に迫るー	〃
小樽市博物館紀要 第5号	小樽市博物館
稲垣益穂日誌III	〃
川崎市青少年科学館年報 平成3年度	川崎市教育委員会
〃 紀要 第3号	〃
生田緑地の昆虫	〃
生田緑地の自然観察IV野鳥	〃
博物館資料集2 米づくりの農具	浜松市博物館
浜松市博物館年報V	〃
丸山遺跡ーI～IV次調査概要ー	青梅市教育委員会
青梅市史史料集第42号 庭場についてー一村の中の小さな共同体	〃
「地球は一つ英知は無限」	科学技術庁
志賀自然教育研究施設研究業績	信州大学教育学部
御雛 〔三〕	成巽閣
南蛇井増光寺遺跡I	群馬県教育委員会
史跡十三宝塚遺跡	〃
昭和町I遺跡	高崎市遺跡調査会
萩原団地遺跡	〃
日向の山村生産用具資料1～7	宮崎県総合博物館
大室古墳群発掘調査報告書	明治大学考古学研究室
西町遺跡・高山遺跡	木島平村教育委員会

2) 自然資料

資 料 名	数 量	寄 贈 者 (敬 称 略)
貝類化石	8	吉澤 房齋 (小川村)
セコイア球果化石	2	壇原 孝行 (大豆島)
アケボノゾウ白歯化石	4	井出 秀夫 (小諸市)

3) 歴史資料

古典籍 (一括)

舎川正善

4) 民俗資料

資 料 名	数 量	寄 贈 者 (敬 称 略)
内裏雛	1 対	高橋 茂雄 (七瀬中町)
掛軸	1	〃
シンガーミシン	1	滝沢 宏夫 (松代町)
手板	4	宮沢 卯蔵 (吉田)
醬油徳利	24	佐治 木祥司 (三輪田町)
栓と口	11	〃
口	13	〃
桶	2	〃
敷板	1	〃
フネ	1	〃
印	2	〃
一斗升	1	〃
柄杓	1	〃
醬油瓶用包装紙	一括	〃
火付け	1	〃
徳利洗い	1	〃
風呂敷	5	〃
紙製鯉幟	2	〃
打掛け	1	赤羽 知子 (七瀬中町)
サケ漁の網	1	島田 典生 (篠ノ井)
木製カメラ道具一式	62	斎藤 行道 (篠ノ井)
大鋸	1	〃
マワシビキ	1	井上 栄一郎 (青木島町)
大鋸	2	〃
オハビロ	1	〃
マサカリ	1	〃
墨壺	1	〃
鎌	1	〃
煙草盆	一式	〃
道具箱	1	〃
河内式紡糸機	1	〃
鴨捕り網	1	〃
釣りの道具一式	一式	〃
木の皮剥ぎ機	1	〃
綿のほかし	1	〃
鎌	2	〃

資 料 名	数 量	寄 贈 者 (敬 称 略)
三ッ又鋏先	1	〃
四ッ又鋏先	1	〃
トチガネ	1	〃
系車	1	〃
クワン	1	〃
ラコね鉢	1	〃
漬物鉢	2	〃
茶筒	1	〃
火鉢	2	〃
草かき	1	〃
椀	一 式	〃
木製ノ蒸し器	2	〃
二ツ掛	一 式	〃
鉤引	1	〃
俵リッゴ	1	〃
鋸	3	〃
丸太	3	〃
牛乳	1	〃
シヨビ	1	〃
トス草盆	1	〃
煙布袋	1	〃
膳	40	佐々木 愛明 (七瀬中町)
アヤン	一 式	〃
イグン	一 式	〃
アヤン	1	〃
アスコ	1	〃
板鋏	1	〃
木製	2	〃
線引	1	〃
アイ	一 式	〃
土入	2	〃
ジ土	1	〃
土碎	1	〃
土叩	1	〃
杵	1	〃
押し	1	〃
鋏	1	〃
ハ先	1	〃
国旗	1	〃
俵編	9	〃
非用	一 式	〃
モダ	1	〃
念仏	26	〃
鋤	5	米沢 進 (七瀬中町)
ハ線	3	青木 重男 (稲里町)
土引	1	〃
土か	1	〃
土碎	1	〃
野良	1	〃
	1	徳成 な お 子 (小島田町)

3 寄託資料

更級郡山村山村酒井家文書
肉筆浮世絵

酒井 伸
柳沢 幹雄

Ⅳ 博物館管理運営

1 平成4年度歳出当初予算概要

(単位：千円)

節	内 訳	予 算 額	一 般 的 経 常 費	政 策 的 経 常 費						投 資 的 経 費
				文化財展	星 展	水田展	海の貝展	プラネタリウム	各種事業	
(1) 報 酬		2,093	2,093							
(2) 給 料		24,902	24,902							
(3) 職 員 手 当		16,247	15,685		24	150		240	148	
(4) 共 済 費		7,703	7,703							
(7) 賃 金		19,431	18,383		114	583	71	208	72	
(8) 報 償 費		1,107	150	65	65	485	75		267	
(9) 旅 費		822	365		39	300	69		49	
(1) 需 用 費		26,981	23,200		391	1,221	350	1,129	690	
(消 耗 品 費)	(3,082)	(2,313)		(50)	(175)	(90)	(185)	(269)		
(燃 料 費)	(3,208)	(3,208)								
(食 糧 費)	(83)	(60)		(1)	(12)	(5)			(5)	
(印 刷 製 本 費)	(6,196)	(3,287)		(340)	(1,034)	(255)	(864)	(416)		
(光 熱 水 費)	(13,151)	(13,151)								
(修 繕 料)	(1,181)	(1,181)						80		
(医 療 材 料 費)	0	0								
(12) 役 務 費	9,193	5,515	2,863	160	655					
(13) 委 託 料	26,225	16,920		124	696	215	1,136	1,344	5,790	
(14) 使用料及び賃借料	2,441	1,520		45	80		144	652		
(15) 工 事 請 負 費	8,050	200			200					7,650
(16) 原 材 料 費	215	0		50	91	40			34	
(18) 備 品 購 入 費	7,304	1,255		43	200		300	6	5,500	
(19) 負担金及び交付金	81	81								
(20) 公 課 費	9	9								
計		152,804	117,981	2,928	1,055	4,661	820	3,157	3,262	18,940

各種事業…教室・講座・収蔵資料整理・調査研究・マイクロフィルム化・移動博物館

2 管理業務（役務費・委託料）

（単位：千円）

名 称	金 額		
自家用電気保安点検	438	消防用設備点検（分館）	70
エレベーター保守点検	606	し尿浄化槽法定検査	13
警備業務（本館）	433	空調設備等管理	6,375
“（分館）	208	し尿浄化槽管理	647
プラネタリウム保守点検	882	清掃業務（本館）	6,353
ターボ冷凍機保守点検	567	“（分館）	1,250
展示模型映像機器保守点検	479	庭園管理	483
空調設備自動制御保守点検	927	くん蒸業務	1,465
くん蒸装置保守点検	140	空調機器（冷暖房）（分館）	77
		合 計	21,413

3 利用状況

1) 資料の館外貸出

貸出番号	貸 出 先	資 料 名	点数
4-1	上田市立信濃国分寺資料館	四ツ屋遺跡の甕など	54
2	信州大学附属長野小学校	モッコ・風呂鍬	2
3	篠ノ井高校	日食写真パネル	9
4	長野市立南部小学校	プラネタリウムナレーションテープ	1
5	上田市立博物館	遊び切り絵ポジフィルム	6
6	松戸市立博物館	上杉謙信肖像画ポジフィルム	1
7	長野県教育委員会	川柳將軍塚古墳の鏡ほか	27
8	大岡村役場	芦ノ尻道祖神紙焼き	2
9	真田宝物館	内裏雛など	4
10	長野県教育委員会	手斧	1
11	憲政記念館	富岡日記	1
12	千葉県立上総博物館	ワラ製品	41

2) 資料の特別利用

利用番号	申 請 者 名	利 用 資 料 名	点数	利用の方法	利用月日
4-1	八十二文化財団	紙幣（藩札・私札）		閲覧	4月3日
2	赤沼 武男（長野市）	小島境遺跡筋砥石	1	写真撮影・掲載	4月10日
3	郷土出版社（ “ ）	絵地図		閲覧	5月4日
4	(株)アイデスク（ “ ）	弥生時代稲作ジオラマ写真	1	掲載	5月14日
5	郷土出版社（松本市）	長井雲平作「夏景山水図」	1	“	11月12日
6	福島 厚利	平柴平遺跡弥生土器ほか		写真撮影・掲載	3月26日

3) 特別展示室

利用 者 (財)長野県埋蔵文化財センター長野調査事務所
 利用期間 平成5年2月5日～15日
 利用目的 平成4年度発掘調査速報展の開催のため
 入 館 者 約2,500人

4 入館者状況

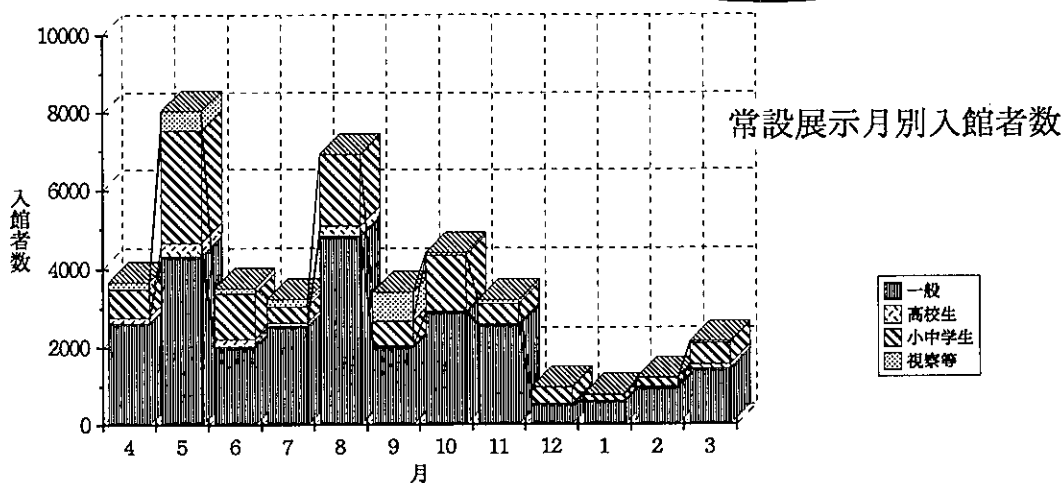
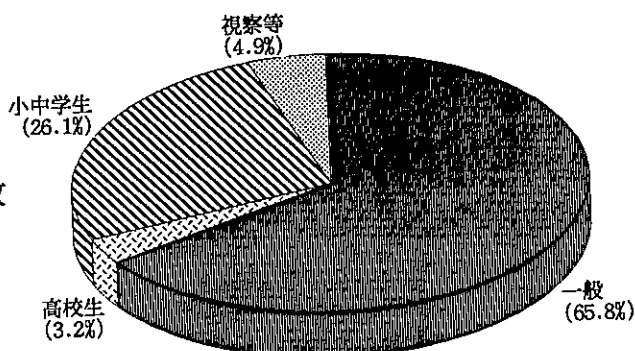
(平成4年4月～平成5年3月)

1) 博物館常設展示

常設展示月別入館者数

区分 月	個 人			団 体			合 計			視察等	総合計	開館 日数	一日 平均
	一 般	高校生	小中学生	一 般	高校生	小中学生	一 般	高校生	小中学生				
4	1,806	61	444	836	87	270	2,642	148	714	174	3,678	25	147
5	2,921	102	654	1,406	235	2,226	4,327	337	2,880	504	8,048	27	298
6	1,184	41	238	853	136	924	2,037	177	1,162	130	3,506	25	140
7	1,429	98	284	1,115	0	126	2,544	98	410	181	3,233	27	120
8	3,732	260	1,509	1,088	0	311	4,820	260	1,820	32	6,932	26	267
9	1,265	46	325	753	0	301	2,018	46	626	723	3,413	21	163
10	1,457	39	338	1,436	0	1,065	2,893	39	1,403	63	4,398	27	163
11	1,548	45	349	1,012	0	296	2,560	45	514	99	3,218	24	134
12	491	26	128	20	0	296	511	26	424	27	988	23	43
1	600	16	140	0	0	0	600	16	140	43	799	23	35
2	968	28	215	0	0	0	968	28	215	24	1,235	23	54
3	1,432	111	553	45	0	0	1,447	111	553	42	2,183	26	84
計	18,833	873	5,177	8,564	458	5,684	27,367	1,331	10,861	2,042	41,631	297	140

常設展示区分別入館者数

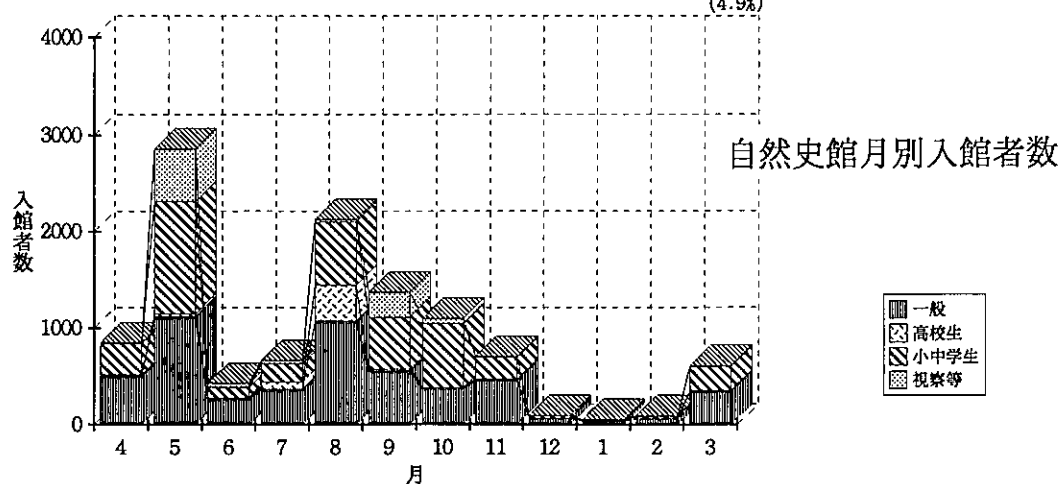
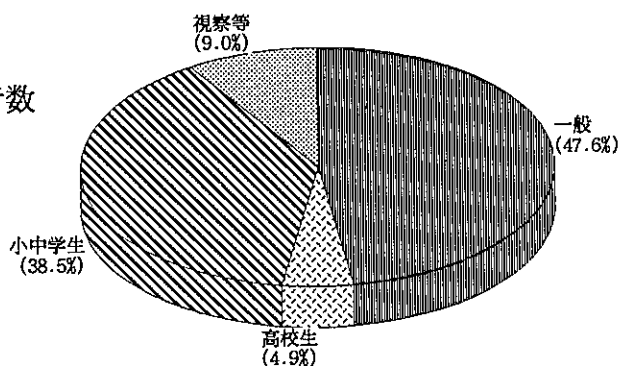


2) 自然史館常設展示

常設展示月別入館者数

区分 月	個 人			団 体			合 計			視察等	総合計	開館 日数	一日 平均
	一 般	高校生	小中学生	一 般	高校生	小中学生	一 般	高校生	小中学生				
4	468	12	335	30	0	0	498	12	335	4	849	25	40
5	1,119	28	495	3	0	672	1,122	28	1,167	542	2,859	27	106
6	273	2	112	0	0	0	273	2	112	38	425	25	17
7	366	73	194	0	0	0	366	73	194	31	664	27	25
8	1,074	369	662	0	0	0	1,074	369	662	26	2,131	26	82
9	515	24	289	33	0	251	548	24	540	259	1,371	24	57
10	373	1	268	4	0	401	377	1	669	56	1,103	27	41
11	459	6	234	0	0	0	459	6	234	2	701	26	27
12	66	4	25	0	0	0	66	4	25	0	95	23	4
1	35	2	13	0	0	0	35	2	13	3	53	23	2
2	60	3	18	0	0	0	60	3	18	10	91	23	4
3	339	14	245	0	0	0	339	14	245	9	607	26	23
計	5,147	538	2,890	70	0	180	5,217	538	4,214	980	10,949	302	36

自然史館区分別入館者数

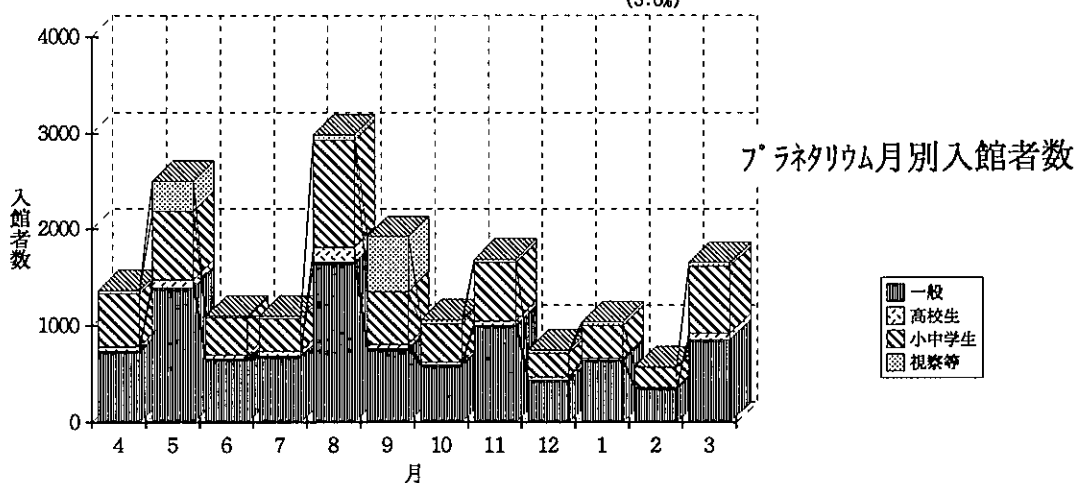
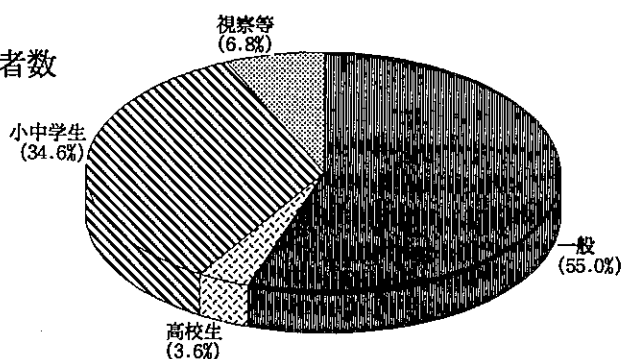


3) 天体学習室（プラネタリウム）

プラネタリウム月別入館者数

区分 月	個 人			団 体			合 計			視察等	総合計	実施 回数	一回 平均
	一 般	高校生	小中学生	一 般	高校生	小中学生	一 般	高校生	小中学生				
4	697	48	490	40	0	58	737	48	548	35	1,368	38	36
5	1,307	76	583	89	0	137	1,396	76	720	305	2,497	45	55
6	595	38	336	62	0	51	657	38	387	18	1,100	29	38
7	648	52	294	34	0	48	682	52	342	27	1,103	44	25
8	1,650	163	1,111	0	0	0	1,650	163	1,111	62	2,986	72	41
9	748	48	522	15	0	21	763	48	543	567	1,921	37	52
10	578	23	367	20	0	36	598	23	403	34	1,058	35	30
11	955	48	580	48	0	22	1,003	48	602	34	1,687	42	40
12	440	32	242	0	0	0	440	32	242	33	747	33	23
1	641	24	335	0	0	0	641	24	335	39	1,039	40	26
2	350	13	210	0	0	0	350	13	210	6	579	14	41
3	853	68	691	0	0	0	853	68	691	38	1,650	50	33
計	9,462	633	5,761	308	0	373	9,770	633	6,134	1,198	17,735	479	37

プラネタリウム区分別入館者数



4) 特別展示

(1) 第29回特別展「長野盆地の文化財」 平成4年4月18日～5月10日

開催日数	入館者計	1日平均
19日	6,792人	357人

(2) 第30回特別展「星との対話」 平成4年7月12日～8月30日

開催日数	入館者計	1日平均
43日	9,191人	214人

(3) 第31回特別展「水・稲・まつりー発掘された古代の水田ー」 平成4年9月20日～11月8日

開催日数	入館者計	1日平均
41日	7,092人	173人

(4) 自然史館第7回特別展「いろいろな海の貝」 平成4年7月5日～9月27日

開催日数	入館者計	1日平均
71日	4,296人	61人

5 長野市立博物館協議会

1) 協議会委員

(任期 平成2年9月25日から平成4年9月24日まで)

職名	氏名	役職	選出区分
会長	中島正美	元長野県教育次長	学識経験
副会長	原昌義	松代史跡文化財開発委員会常任委員	社会教育(歴史)
委員	小出ふみ子	長野市文化芸術協議会副会長	社会教育(文芸)
〃	麻場長男	長野県文化財保護協会長野支部副支部長	社会教育(民俗)
〃	小林計一郎	長野郷土史研究会会長	社会教育(地方史)
〃	島坦	信州大学工学部教授	学校教育(地震)
〃	中村一雄	元長野県教育史編纂主任	学校教育(歴史)
〃	倉田稔	長野市松代小学校校長	学校教育(動植物)
〃	古川貞雄	長野県史常任編纂委員	学識経験(歴史)

協議会委員の改選

(任期 平成4年9月25日から平成6年9月24日まで)

職名	氏名	役職	選出区分
会長	原昌義	松代史跡文化財開発建造物部会長	社会教育
副会長	小林計一郎	長野郷土史研究会会長	〃
委員	麻場長男	長野県文化財保護協会長野支部副支部長	〃
〃	牛山佳幸	信州大学教育学部助教授	学校教育
〃	倉田稔	長野市松代小学校校長	〃
〃	島坦	元信州大学工学部教授	学識経験
〃	古川貞雄	長野県立歴史館準備室専門員	〃
〃	松橋英幸	元長野県小学校長会長	〃
〃	三井すみ子	郷土を知る会会長	社会教育
〃	山口囀恵	長野市PTA母親文庫運営協議会副会長	〃

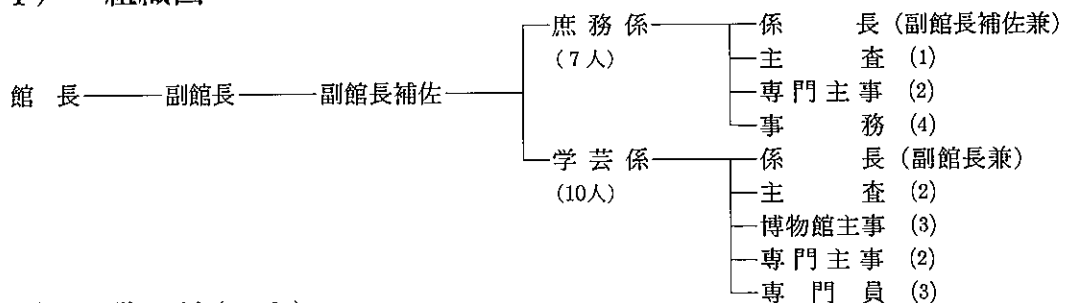
2) 協議会審議経過

平成5年3月9日開催

- (1) 会長・副会長選出
- (2) 平成4年度事業について（報告）
- (3) 平成5年度事業計画について
- (4) その他

6 組 織

1) 組織図



2) 職 員(20人)

館 長	田 中 邦 雄
副 館 長	羽 田 収
副館長補佐	寺 島 司
庶務係長	(寺島 司)
主 査	小 林 良 子
専門主事	常 盤 真 重
専門主事	松 橋 英 幸
事 務	楠 川 百 年
事 務	西 澤 のり子
事 務	坂 口 昭 三(自然史館)
事 務	両 角 和 子(")
学芸係長	(羽田 収)
主 査	山 口 明(学芸員、考古)
主 査	大 蔵 満(" 、天文)
博物館主事	原 田 和 彦(" 、歴史)
博物館主事	辻 浩 子(" 、民俗)
博物館主事	畠 山 幸 司(" 、地質…自然史館)
専門主事	吉 田 幸 文(自然史館)
専門主事	関 啓(")
専門員	藤 森 治 幸(歴史)
専門員	和 田 博(歴史)
専門員	児 玉 利 子

(平成4年4月1日現在)

年 報 VOL. 11

—平成4年4月～平成5年3月—

発行 平成6年3月31日

編集 長野市立博物館
発行

長野市小島田町八幡原史跡公園内

☎ 0262 (84) 9 0 1 1

印刷 西沢印刷株式会社
